

令和 8 年度施策運営目標について

令和 8 年 7 月

関 西 広 域 連 合

令和8年度各分野事務局等施策運営目標について

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値
広域防災	1 大規模広域災害を想定した広域対応の推進	1 「広域防災拠点による支援体制のあり方検討結果(令和7年度)」、「国・防災基本計画修正(R8年夏頃予定)」等を踏まえ、関西防災・減災プラン(総則編、地震・津波災害対策編)の改訂を行う	関西防災・減災プランの改訂等による、関西圏域の防災力の向上
		2 災害時相互応援協定を締結している九都県市等との訓練の相互参加や情報交換の実施 訓練への参画:2か所以上	相互応援体制の強化による災害対応能力の向上
	2 災害時の物資供給等の円滑化の推進	1 関西防災・減災プラン等の実効性を高めるため、関係機関が習得すべき知識・技能に焦点を当てた訓練等の実施	広域応援訓練等の参加者アンケートで「知識・技術を修得できた」と回答した割合:85%以上
	3 防災・減災事業の推進	1 災害時帰宅支援ステーション事業のポスター掲出等による普及・啓発、「関西広域帰宅困難者対策ガイドライン」の改訂、帰宅困難者対策訓練の実施 ①掲出協力店舗総数:12,450店舗以上 ②関西広域帰宅困難者対策訓練:1回	災害時帰宅支援ステーション事業の新規協定締結数:1件
		2 防災担当職員等の災害対応能力の向上を図る研修の実施 ①研修実施回数:4回 ②研修参加者アンケートによる研修満足度85%以上	研修参加者アンケートで「知識・技術を修得できた」と回答した割合:85%以上
		3 「防犯防災総合展」等の防災イベントへの出展 出展回数:6回	防災イベント等における出展ブース来場者数:1,500人以上
		4 防災庁地方拠点設置に向け、防災イベント等の機会を捉えてセミナー、シンポジウムを開催 セミナー実施:2回	セミナー受講者数:200人以上

分野事務局等	施策運営目標		アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値
広域観光・文化・スポーツ振興 (観光振興)	1	文化や自然など多様な資源を活用した関西の魅力づくり	1 国内外観光客の誘客と関西への来訪動機づくりのため、関西に点在する共通のテーマの観光資源の磨き上げを行い、「テーマツーリズム」を推進 「工芸」をテーマとした広域周遊観光ルートの造成:2ルート	テーマツーリズム等を通じて関西の魅力をPRすることにより、「KANSAI」ブランドの認知度向上と訪日観光客の関西への誘客を図る
	2	関西の多様な魅力を活かした広域周遊観光の更なる推進	1 「関西」を魅力ある観光圏として海外に発信するため、構成府県市や関西の経済界等との連携により、観光プロモーションを戦略的に実施 海外向けプロモーション等の実施回数:3回	海外在住の訪日検討層に対するアンケートで「関西に行きたい」と回答した割合:57%以上
	3	受入環境の整備	1 全国通訳案内士登録業務の実施、通訳案内士育成のための研修会の開催 研修受講者数:200人以上	通訳案内士育成のための研修会受講者の習熟度:80%以上
			2 関西圏域内の観光情報サイト「The Gate to KANSAI」等へ誘導することにより、訪関西観光客に旅ナカ情報を提供 ①「The Gate to KANSAI」の年間訪問者数:120万人以上 ②年間閲覧数:400万PV以上	海外在住の訪日検討層に対するアンケートで「関西に行きたい」と回答した割合:57%以上
	4	観光振興のための連携強化	1 官民一体で設立した(一財)関西観光本部等と協力し、様々な観光プロモーションを戦略的に実施 官民連携による海外メディア招請及び情報発信、商談会への出展回数:3回	訪日外国人の関西(近畿運輸局管内)での平均泊数 6.0泊以上
広域観光・文化・スポーツ振興 (文化振興)	1	多様な文化資源の振興や魅力向上の推進	1 専用ホームページの多言語対応を行う 対応言語:2言語(日本語・英語)	専用ホームページPV数:6万PV
			2 「ミュージアムぐるっとパス・関西」の利用を促進し、文化観光をつなげるため、インフルエンサーを起用したショート動画による広報を行う ショート動画の制作・配信回数:7回	ショート動画の総再生回数:200万回
			3 関西エリアの文化芸術に関して、構成府県市が取り組んでいる支援策や相談窓口の状況等を取りまとめ、関西広域連合ホームページで発信	「関西の文化芸術関係者に向けた支援や相談窓口について」のPV数:700PV以上
	2	連携交流による文化観光の推進	1 世界文化遺産、日本遺産をはじめとする関西の文化資源等を体験するプログラムを構築 構築するプログラム数:2以上	参加者アンケートで文化資源等への関心が高まったと回答した割合:90%以上
	3	文化と経済の好循環の推進	1 アーティストと企業などの異分野交流を推進し、新たな文化創造と文化芸術を活かした新たなビジネス創出や街づくりを促進 ①交流会の開催:1回 ②参加数:200人	参加者アンケートで文化分野への関心が高まったと回答した割合:70%以上

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値
広域観光・文化・スポーツ振興 (スポーツ振興)	1 「生涯スポーツ先進地域関西」の実現	1 こども・親子向けのスポーツイベントや大会等の開催 実施: 1回	スポーツ交流大会参加者の満足度: 85%以上
		2 デジタル技術を活用したウォーキング等のスポーツイベントの開催 実施: 1回	参加人数: 8,000人以上
		3 「関西マスターズゲームズ」の開催 ①広域大会: 全構成府県市 ②地域大会: 全構成府県市	参加人数 ①広域大会: 7,000人以上 ②地域大会: 85,000人以上
		4 「ワールドマスターズゲームズ関西」、「関西スポーツの日」、「関西スポーツ月間」を広報、啓発する キャンペーンやイベントの開催 全構成府県市実施	参加者数20,000人以上
		5 大型商業施設等PR効果の高い会場において、府県市単位では開催が困難なパラスポーツ体験会の開催 体験会: 7府県市実施	パラスポーツ体験会参加者の満足度: 85%以上
		6 スポーツ振興に積極的な企業やスポーツを通じて健康経営に積極的に取り組む企業等に対する表彰の実施 実施: 1回	全構成府県市から応募
	2 「スポーツの聖地関西」の実現	1 府県市単位では強化・育成が困難なパラスポーツのアスリート向け練習会の開催 練習会: 5府県市実施	育成練習会参加者の満足度: 85%以上
		2 実績のある著名な指導者等によるスポーツ指導者向け講習会の開催 実施: 1回	指導者講習会参加者の満足度: 85%以上
	3 「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現	1 「関西広域サイクリングルート」について、ホームページ等による情報発信およびイベントの開催 実施: 1回	参加人数: 500人以上
広域観光・文化・スポーツ振興 (ジオパーク推進)	1 文化や自然など多様な資源を活用した関西の魅力づくり	1 ・大阪・関西万博でのジオパークのアピールを活かしたファミトリップ及び旅行商品造成を実施 ・国内外での各種イベント等でのプロモーションの展開 ・ジオパークのガイドスキル向上等を図るための研修の実施 ①ジオパーク旅行商品の造成及び販促: 3商品以上 ②各種イベント等でのプロモーション実施回数: 5回以上 ③ガイドスキル向上等を図るための研修実施回数: 1回	ジオパーク拠点施設の入込客数: 年80万人

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値
広域産業振興	1 関西の優位性を活かしたイノベーションの創出・発展	1 関西のディーブテック・スタートアップを生み出すポテンシャルを訴求し、国内外の様々なスタートアップ、投資家、人材、企業の集積を目的に情報発信を実施 ①海外データベース等の登録:新規50件 ②国内外への、SNS、メディア等を使った情報の発信:50件 ③構成府県市が一体となった、イベントの開催:2回	「Global Startup Ecosystem Ranking」新興エコシステム部門:79位以上
		2 海外に訴求力のある大規模展示会やイベントへの参加により、関西のライフサイエンス分野の強み・ポテンシャルを広く発信し、国内外における関西の認知度・存在感の向上を図る ①BioJapan マッチング申込件数:参加企業数×20件以上 ②BioJapan期間中、関西広域連合のパンフレットを手交:450部以上	BioJapan マッチング件数:参加企業数×6倍以上
		3 関西が高いポテンシャルを有するグリーン分野において、産学連携による製品開発や企業間連携によるビジネス機会の創出を促進するためのフォーラムを開催 フォーラムの参加者数:220人以上	フォーラム参加者アンケートで「今後の事業活動に有益な情報を得ることができた」と回答した割合:70%以上
		4 世界最大級のスタートアップイベントで広域連合ブースを出展し、海外のスタートアップ関係者に向けて、ディーブテックを中心とした、関西の強み、ポテンシャルを発信 域内のスタートアップ企業4社の出展を支援	出展支援を行ったスタートアップのマッチング件数:160件以上
	2 高付加価値化による中堅・中小企業等の持続的成長	1 関西広域連合域内の公設試による企業に対する技術支援サービスに事業化支援機能を付加させ、域内の多様な機関が連携し、シームレスに企業を支援する広域的PFをオール関西で構築し、イノベーションが生まれる環境の創出を図る ①「かんさいラボサーチ」アクセス件数:32,000件以上 ②公設試職員向け研修・交流会の参加者数:75名以上	①利用企業の満足度:80%以上 ②公設試等のシーズに対する企業ニーズとのマッチング(面談)の件数:25件以上
	3 特色のある産業を活かした地域経済の活性化	1 [国内外向けプロモーション] 関西が誇るものづくり技術やプロダクトのコアユーザーをさらに増やすため、地域に根差した伝統工芸等の製品展示や販売、ワークショップを複合させたプロモーションイベントを開催し、関西のものづくり産業のポテンシャルをPRすることで、関心をもつ層の拡大を図る ①イベントの開催:1回以上 [海外向けプロモーション] 海外とのビジネス交流のさらなる活性化に向け、先端技術や伝統工芸品などの5分野から注目企業を紹介するWEBサイトの運営など、関西の多様な産業や域内企業の魅力を国内のイベントを通じて海外へ発信する ②大規模展示会・商談会及び海外向けプレスリリース等におけるPR回数:3回以上	[国内外向けプロモーション] ①来場者アンケートで「関西のものづくり産業について関心を持った」と回答した割合:80%以上 [海外向けプロモーション] ②海外向けWEBサイト閲覧数:1,000PV以上
		2 域内中小企業を対象に人材確保や育成などの支援策や最新の産業情報を多様な媒体により発信 企業の先進的な取組等を取り上げたビジネス情報紙・WEB版の発行:4回	情報紙読者の満足度:75%以上
		3 ・域内市町村の創業支援事業に活用できるeラーニング教材の提供 ・企業の人材活用やデジタル化の取組み等についてのセミナーを開催 ①eラーニング教材の導入市町村:50市町村以上 ②セミナーの開催:1回以上	①利用市町村アンケートで「創業支援に有効であった」と回答した割合:80%以上 ②セミナー参加者の満足度:75%以上

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値
広域産業振興 (農林水産部)	1 地産地消運動の推進による域内消費拡大	1 域内農林水産物の消費拡大を図るため、地産地消運動の趣旨に賛同する企業等を「おいしい！KANSAI応援企業」に登録し、ホームページで登録企業の社食メニューやCSR活動等を紹介するほか、当該食堂で域内農林水産物のPRイベントを実施 登録施設数：新規登録10施設	新規登録企業へのアンケートで「今年度、域内食材を使用した」と回答した割合：80%以上
		2 域内特産農林水産物の利用促進とPRを図るため、学校給食に域内の特産農林水産物を提供するとともに、生産者団体等による出前授業を実施 域内農林水産物の提供学校数：32校	出前授業校へのアンケートで「域内農林水産物の理解が深まった」と回答した割合：80%以上
		3 府県域を越えたイベントの支援を通じて、直売所間の交流促進及び新たな交流の創出を図る 直売所間交流回数：10回	イベントに出向いた店舗へのアンケートで「イベントに参加してよかった」と回答した割合：80%以上
	2 国内外への農林水産物の販路拡大	1 事業者の海外展開を促進するため、時流やニーズに即したテーマ及び講師を選定し、海外輸出セミナーをWEBで開催する ①セミナー開催：1回 ②参加者：200名以上	セミナー参加者へのアンケートで輸出に取り組むうえで「役に立った」と回答した割合：80%以上
		2 域内事業者の多様な販路の確保・拡大を図るため、大型量販店や外食産業などの食品関係バイヤーを招聘し、WEB型マッチング商談会を開催する ①バイヤー招聘：15社以上 ②商談機会の創出：100件以上	WEB型マッチング商談会の実施を通じて、域内事業者の新たな販路の開拓や取引先の獲得につながる成果を生み出し、継続的な販売機会の創出を図る ①満足度：80%以上 ②成約率：10%以上
	3 都市との交流による農山漁村の活性化	1 ・構成府県市の優良事例や交流施設等を紹介する「都市農村交流サイト」を運営するとともに、SNSを活用した情報発信 ・域内の都市農村交流施設を対象にデジタルスタンプラリーの実施 デジタルスタンプラリーの参加施設数：200施設	スタンプラリーユーザーへのアンケートで「都市農山漁村交流施設を利用したい」と回答した割合：80%以上
		2 構成府県市における都市農村交流の優良事例の発表や、地域課題の解決に向けた現地見学と意見交換を行う現地検討会を開催 現地検討会の開催：1回	検討会参加者へのアンケートで「今後の活動の参考になった」と回答した割合：80%以上

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値
広域医療	1 ドクターヘリによる広域救急医療体制の充実	1 「京滋ドクターヘリ」、「大阪府ドクターヘリ」及び「徳島県ドクターヘリ」の安定的な運航体制を確保	関西広域連合管内8機のドクターヘリによる効果的かつ効率的な運航の推進
		2 関西広域連合管内のドクターヘリ基地病院のフライトドクター・ナース等が情報共有・意見交換を行う「ドクターヘリ基地病院交流・連絡会」を開催 開催回数: 1回	交流・連絡会参加者の満足度: 70%以上
	2 災害時における広域医療体制の強化	1 被災地医療を統括・調整する災害医療コーディネーター養成研修を開催 開催回数: 1回	研修参加者の満足度: 80%以上
		2 「近畿府県合同防災訓練」等の広域的な災害医療訓練を実施 実施回数: 年1回	連合管内参加DMAT数: 30チーム
		3 衛星携帯電話の通信訓練や、「広域災害救急医療情報システム(EMIS)」の入力訓練を実施 実施回数: 年1回	通信訓練参加府県: 5府県以上
	3 課題解決に向けた広域医療体制の構築	1 感染症対策に係る広域連携を必要に応じて行えるよう、情報共有等を継続して行うとともに、感染症担当者情報交換会を実施 実施回数: 年1回	感染症対策に係る参加者の知識向上による体制強化
		2 危険ドラッグや大麻等薬物乱用の実態に対応した実務担当者会や研修会を開催 開催回数: 1回	研修参加者の満足度: 80%以上

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値
広域環境保全	1 脱炭素社会づくり (地球温暖化対策)	関西脱炭素フォーラムにおいて、取組発表や交流の機会を創出することで、関西脱炭素社会の実現に向けた実践行動促進のための機運の醸成を図る 関西脱炭素フォーラムの参加者数:300名	関西脱炭素フォーラム参加者の満足度:80%以上
	2 自然共生型社会づくり (生物多様性の保全)	自然エリアを対象として、生物多様性や自然の恵みの重要性、自然と人の営み等の気付きを目的としたスタディツアーを実施 実施回数:1回	スタディツアー参加者の満足度:80%以上
		・関西地域カワウ広域管理計画(第4次)に基づき、カワウ生息動向調査、飛来数および被害状況・対策状況の把握、対策検証事業の広域展開・計画作成支援を実施 ①カワウ生息動向調査:年3回 ②被害地への飛来回数、被害状況・対策状況の把握:年1回 ③カワウ対策検証事業の広域展開または計画作成支援:年1回	漁協等が被害対策に取り組む構成府県:7府県
		ニホンジカやツキノワグマ、外来獣等対策の推進 ①野生鳥獣対策の検討会議および有害鳥獣捕獲体制検討会の開催:5回 ②構成府県市に対するクマ対策の支援のための研修会の実施:1回 ③検討会議および研修会の参加者数:延べ60人以上	検討会議等参加者の満足度:80%以上
	3 循環型社会づくり (サーキュラーエコノミー(循環経済)への移行)	・マイボトルスポットMAPとOsakaほかさんマップの統合、マイボトル利用促進に資する啓発の実施 ①事例集の作成及び啓発イベントの実施等を通して、ファッションロス削減に向けた機運を醸成 スポットMAP登録数新規登録:250以上	マイボトルスポットMAPアクセス数:12,000件
	4 持続可能な社会を担う人育て (環境学習の推進)	・地域特性を活かした交流型環境学習事業の実施 ・持続可能な社会の担い手となる若い世代と関西の環境保全団体等とのネットワーク形成を促進するシンポジウムの開催 ①学習船「うみのこ」親子体験航海の開催:2回、京都府自然体験教室の開催:2回 ②KANSAI環境×若者シンポジウムの開催:1回	各イベントにおいて目標が達成されたと感じる参加者の割合:90%以上
資格試験・免許	1 資格試験、免許事務の着実な推進	1 試験委員会との高度な連携のもと精度の高い問題検証行程の確立、出題品質の向上	不適切問題の件数:0件
		2 ・免許申請に対して正確かつ迅速な免許等の交付 ・非行免許所有者に対する厳正な対処と准看護師については再教育研修の適正な実施	免許交付処理期間の維持:30日以内
広域職員研修	1 幅広い視野を有する職員の養成及び業務執行能力の向上 2 構成団体間の相互理解及び職員間のネットワークの活用 3 研修の効率化	1 政策形成能力研修の実施 受講者の研修内容に係る満足度:90%以上	受講者の知識・技術の修得度合:90%以上

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値
企画調整	1 広域交通インフラ機能強化、整備促進	1 道路、空港、港湾、北陸新幹線・リニア中央新幹線等の整備について、国への要望を実施	広域インフラマップ(道路)掲載路線における新規供用区間数:3区間以上
	2 プラスチック対策の推進	・プラスチック代替素材製品の開発・製造・販売に資する情報、その普及に向けた課題や対応策・取組事例等を盛り込んだ情報集や、プラスチックごみ散乱状況推計モデル利活用マニュアルの利用拡大を図るための自治体・事業者等のセミナー、研修会の開催 1 ・関係各主体と課題の情報の共有を行い、プラスチックごみ抑制に向けた連携・協働のための意見交換や各方面の情報収集を行うプラットフォーム会議の開催 ①自治体・事業者等向け研修会の開催:1回 ②プラットフォーム会議の開催:1回	①セミナー・研修会の参加者アンケートで研修会を有益と回答した参加者:80%以上 ②参加者アンケートでプラットフォーム会議での情報を有益と回答した参加者:80%以上
	3 エネルギー政策の推進	関西水素サプライチェーン構想実現プラットフォームを運営し、水素セミナー、意見交換会、施設見学会等の交流会を開催 1 ①交流会の累計参加者数:80人以上 ②交流会の開催:計4回	参加者アンケートで、交流会の内容に「満足」または「やや満足」と回答した割合:80%以上
	4 産学官連携によるイノベーションの強化・推進	1 関西健康・医療創生会議において、産学官連携による医療データの利活用や医療情報セキュリティ対策、広域救急・地域医療の府県域を越えた連携のあり方等に関するシンポジウム・セミナーを開催 シンポジウム・セミナー参加者:400人	参加者アンケートで「シンポジウム・セミナーの内容に満足した」と回答した割合:80%以上
	5 琵琶湖・淀川における流域ガバナンスの向上に向けた取組の推進	1 ・流域府県市で構成する水源保全連絡会議やシンポジウム等の実施により、流域の現状と課題を共有するとともに、水のつながりの理解の輪を広げ、多様な主体の連携を促進する	・水源保全等に関する現状と課題の共有 ・流域内の様々な主体による連携・協働の促進
	6 官民連携の推進	1 ・関西における様々な課題等について意見交換を行う「関西経済界との意見交換会」の開催 ・「関西女性活躍推進フォーラム」の開催、「関西SDGsプラットフォーム」の運営	・関西における様々な課題への対応と官民連携の取組の推進 ・女性活躍推進の機運醸成と意識啓発、関西SDGs達成に向けた連携・協働の促進及び理念の普及
	7 地方公共団体の情報システムの標準化・共通化、行政手続きのオンライン化等、デジタル化の推進	・官民連携による関西のDX推進 ・関西圏域自治体向けのDXセミナー等の開催 1 ・構成団体の主要オープンデータ等を集約した「デジタルゲートウェイ」の充実 ・構成団体の取組状況調査及び知見の共有 ①セミナー開催回数:1回 ②オープンデータ新規掲載件数:1件以上	・関西圏域自治体のDXIに向けた機運醸成 ・関西圏域自治体のオープンデータ整備・利活用促進 データ利活用のモデルケース創出:1件以上
	8 ビジネスがより効率的に行える広域的な環境づくりに向けた様式・基準の統一の推進	1 「広域的な様式・基準統一検討会議」の下に、様式統一に係る2つの部会及び基準統一に係る1つの部会を設置し、構成府県市における状況の把握・共有及び共通化に向けた検討を実施	キッチンカーの営業許可基準の共通化に係る指針の運用に際しての疑義事項等の整理
	9 情報発信の推進	・定期的にメールマガジンを配信し、住民等へダイレクトに情報発信 ・ワールドマスターズゲームズ2027関西に関する情報等をSNSやホームページ等で積極的に発信 1 ①X(旧ツイッター)投稿数:110件 ②ホームページの「報道発表」「お知らせ」の掲載数:110回 ③メールマガジン発信回数:36回	①X(旧ツイッター)閲覧数:85,000件以上 ②ホームページ閲覧数:2,000,000ビュー以上 ③メールマガジン登録者数:5,100人以上
	10 広域連携による行財政改革の推進	1 広域での処理が効率的かつ効果的となる新たな事務の検討に係る取組項目について、実現に向けた調査・検討を行う	令和9年度以降の取組方針及び実施内容を明確化し、具体的な取組内容を決定

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値
地方分権改革推進	1 分権型社会の実現に向けた効果的取組の推進	1 国の事務・権限の移譲等に向けて、国の予算編成等に対する提案、地方分権改革に関する提案募集の活用により、国に対して働きかけを行う	国の事務・権限の移譲等に向けた提案に国が応じ、国との間で具体的な協議に着手
		2 ・政府関係機関等の地方移転並びに機能向上を推進するため、政府機関と構成団体等の連携事業についての情報共有などを行う ・政府機関等の移転に係る情報発信を行う	・政府関係機関を含めた団体間による連携促進 ・政府機関等の移転に係る取組の認知度向上
		3 近畿市長会、近畿府県町村会長をはじめ管内の市町村代表者等との意見交換を実施 ①意見交換会:1回 ②情報提供:12回	意見交換会の開催及び情報提供による関西の課題等の認識共有

分野等別個表

関西広域連合の広域防災分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域防災担当委員 齋藤 元彦

基本目標 (目指すべき将来像)	危機に強く、防災・減災のモデルとなる関西 関西の防災に係る人的・物的資源を活用し、そのネットワーク化を図ることにより、事前防災から復旧・復興までの取組を推進し、関西全体の安全・安心を向上させ、国内のみならず世界の防災・減災モデル“関西”を目指す。		
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	-		

施策運営目標 (重点方針)	大規模広域災害を想定した広域対応の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	大規模広域災害時の実効性向上		
対応方針	相互応援体制の強化を図るため、九都府市等との訓練の相互参加及び情報交換等を行うとともに、「関西防災・減災プラン」等の見直しを行う。		

番号	1-1	事業名 関西防災・減災プランの推進										
予算額	(R8予算額)	1,419	千円	(R7決算額)	995	千円	(R7予算額)	1,726	千円	区分	継続(H24～)	
アウトプット					アウトカム					評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)			アウトプット評価		アウトカム評価
「広域防災拠点による支援体制のあり方検討結果(令和7年度)」、「国・防災基本計画修正(R8年夏頃予定)」等を踏まえ、関西防災・減災プラン(総則編、地震・津波災害対策編)の改訂を行う。					「広域防災拠点による支援体制のあり方検討結果(令和7年度)」、「国・防災基本計画修正(R8年夏頃予定)」等を踏まえ、関西防災・減災プラン(総則編、地震・津波災害対策編)の改訂を行い、関西圏域の防災力を向上させ、住民の安全・安心に繋げていく。							
(-)		()			(-)		()					
今後5年間の目標数値	(国の計画等の修正を踏まえ、関西防災・減災プランの改訂等適切な運用を行う。)				5年後の目標数値	(関西防災・減災プランの改訂等により、関西圏域の防災力を向上させ、住民の安全・安心に繋げていく。)				-	-	
昨年度からの改善内容	想定スケジュールに基づき作業を進め、今年度中のプラン改訂を目指す。											
令和8年度の課題	構成団体・連携県の行動計画と整合性を図りつつ、府県域を越えた広域調整を円滑に行うためのプランに改訂する。											
令和9年度の対応方針												

番号	1-2	事業名	相互応援体制の強化										
予算額	(R8予算額)	1,817	千円	(R7決算額)	523	千円	(R7予算額)	2,026	千円	区分	継続(H23～)		
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
災害時相互応援協定を締結している九都県市等との相互応援体制の強化を図るため、訓練への相互参加とともに意見交換等を行う。 【実施予定訓練】 ・九都県市合同防災訓練：1回 ・他広域ブロック実施訓練：1回 (関東・九州・中部・中国・四国ブロック)						情報伝達方法や応援を実施する際の手順を確認し、相互応援体制の強化を図ることで、災害時に迅速かつ的確に対応する。							
(訓練への参画：2か所以上)			()			(-)			()				
今後5年間の目標数値	(訓練への参画：各年2か所以上)					5年後の目標数値	(-)					-	-
昨年度からの改善内容	引き続き、他の広域ブロックが実施する訓練や関西広域応援訓練に相互参加することで、情報交換や顔の見える関係性を構築する等、相互応援体制の強化を目指す。												
令和8年度の課題	対面による相互の訓練参加や情報交換等を実施することで、相互応援体制の実効性の確保を図る。												
令和9年度の対応方針	12												

関西広域連合の広域防災分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域防災担当委員 齋藤 元彦

施策運営目標 (重点方針)	災害時の物資供給等の円滑化の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	災害時の物資供給の円滑化		
対応方針	民間事業者等と連携した訓練の実施等により、「緊急物資円滑供給システム」等の実効性向上を図る。		

番号	2-1	事業名	広域応援訓練の実施・官民連携による広域的な災害対応力強化								
予算額	(R8予算額)	11,798	千円	(R7決算額)	11,700	千円	(R7予算額)	11,862	千円	区分	継続(H23～)
アウトプット						アウトカム				評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価	
関西防災・減災プラン、関西広域応援・受援実施要綱及び南海トラフ地震応急対応マニュアル等に基づき、構成団体、連携県及び防災関係機関が参加する広域応援訓練等の実施 【実施予定訓練等】 ・関西広域応援訓練：1回 ・関西災害時物資供給協議会での事例発表：1回 ・ライフライン事業者と連携した関西合同防災訓練：1回 ・近畿府県合同防災訓練：1回 ・原子力災害時の広域避難訓練・研修：各1回 関西防災・減災プラン等の実効性を高めるため、構成団体・連携県や関係機関が習得すべき知識・技能に焦点を当てた訓練等を実施する。				広域連合・構成団体・民間事業者等の関係機関において、合同で災害訓練等を実施することで、災害発生時における情報伝達・連携内容・手順の確認することができ、災害時に迅速かつ的確に対応することができる。							
()		()		(広域応援訓練等の参加者アンケートから「知識・技術を修得できた」と回答した割合：85%以上)		()					
今後5年間の目標数値		(関西防災・減災プラン等の実効性を高めるため、構成団体・連携県や関係機関が習得すべき知識・技能に焦点を当てた訓練等を実施する。)		5年後の目標数値		(広域応援訓練等の参加者アンケートから「知識・技術を修得できた」と回答した割合：85%以上)		-		-	
昨年度からの改善内容		訓練の実施により、課題等の確認及び各種計画等の実行性の向上を目指す。									
令和8年度の課題		関西広域応援訓練において図上・実動の訓練日を分けるなど訓練時間を十分確保するとともにシステムの連携などを想定した訓練を実施する。									
令和9年度の対応方針											

関西広域連合の広域防災分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域防災担当委員 齋藤 元彦

施策運営目標 (重点方針)	防災・減災事業の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	災害時の帰宅困難者等対策の推進及び防災担当職員の育成、広域防災活動や防災庁創設に関する啓発		
対応方針	帰宅困難者等対策を通じて、企業防災の取組みを促進するとともに、防災庁創設等に関する啓発活動に取り組み、住民の防災意識向上を図る。		

番号	3-1	事業名	帰宅困難者及び外国人観光客対策の推進										
予算額		(R8予算額)	2,870	千円	(R7決算額)	1,600	千円	(R7予算額)	2,659	千円	区分	継続(H23～)	
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
南海トラフ地震等の大規模災害が発生した場合には、都市部を中心に大量の帰宅困難者の発生が想定されることから、関西全体で広域的な帰宅困難者の支援を行う。 ・災害時帰宅ステーション啓発事業 本事業の普及啓発を図るため、同事業のポスター及びステッカーの作成、協定締結事業者の店舗等への掲出 ・国の「災害発生時における大規模な帰宅困難者等の発生への対策に関するガイドライン」の改訂に伴い、広域連合の「関西広域帰宅困難者等対策ガイドライン」の改訂 ・上記広域連合のガイドラインの実効性を確保するため、構成府県市と連携した訓練の実施						・災害時帰宅ステーション事業において、事業者との新規協定締結に向けた普及啓発を図る。 ・帰宅困難者対策訓練を通じて、帰宅困難となった場合の適切な行動について見直しと意識の向上を図るとともに、広域連合の取組を紹介し、普及啓発を図る。							
(掲出協力店舗総数:12,450店舗以上 関西広域帰宅困難者対策訓練:1回)			()			(新規協定締結数:1件)			()				
今後5年間の目標数値		(掲出協力店舗数:50店舗以上増加)				5年後の目標数値		(新規協定締結数:5件)				-	-
昨年度からの改善内容		災害時帰宅支援ステーション事業協力事業者・店舗の増加、広域連合の取組の住民・事業者への周知											
令和8年度の課題		「関西広域帰宅困難者等対策ガイドライン」の改訂											
令和9年度の対応方針													

関西広域連合の広域防災分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域防災担当委員 齋藤 元彦

番号	3-2	事業名	総合的・体系的な研修の実施								
予算額	(R8予算額)	738	千円	(R7決算額)	731	千円	(R7予算額)	738	千円	区分	継続(H23～)
アウトプット						アウトカム				評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価	
構成団体の防災担当職員等の災害対応能力の向上を図ることを目的に研修を年4回実施する。 【実施予定研修】 ・防災担当職員向け研修:2回 ・災害救助法実務担当者研修:1回 ・家屋被害認定業務:1回				防災担当職員の災害対応能力の向上を図る。							
(研修参加者アンケートによる研修満足度85%以上)		()		(研修参加者アンケートにて「知識・技術を修得できた」と回答した割合:85%以上)		()					
今後5年間の目標数値	(研修参加者アンケートによる研修満足度85%以上)			5年後の目標数値	(研修参加者アンケートにて「知識・技術を修得できた」と回答した割合:85%以上)			-		-	
昨年度からの改善内容	前年度実施した研修での参加者意見を踏まえた研修内容の充実										
令和8年度の課題	より実践的な研修内容と研修時期の検討及び研修参加者の確保										
令和9年度の対応方針											

番号	3-3	事業名	広域防災活動に関する情報の発信									
予算額	(R8予算額)	899	千円	(R7決算額)	1,146	千円	(R7予算額)	709	千円	区分	継続(H24～)	
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
広域連合における広域防災の取組みをPRし、住民の防災意識の向上に取り組むために、下記展示会へ出展する。 【出展予定】 ・「防犯防災総合展」 ・「震災対策技術展」(大阪)・(横浜) ・「九都県市合同防災訓練の展示フェア」 ・「ぼうさいこくたい2026in鳥取」 ・「近畿府県合同防災訓練の展示フェア」				防災イベント等へのブース出展においてPRすることで、住民の防災意識向上を図る。				アウトプット評価		アウトカム評価		
(出展回数:6回)		()		(防災イベント等における出展ブース来場者数:1,500人以上)		()						
今後5年間の目標数値	(出展回数:各年5回)			5年後の目標数値		(防災イベント等における出展ブース来場者数:1,750人以上)			-		-	
昨年度からの改善内容	新たに作成した啓発グッズや啓発動画を効果的に活用し、防災意識の向上を図る											
令和8年度の課題	住民の防災意識の向上											
令和9年度の対応方針												

関西広域連合の広域防災分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域防災担当委員 齋藤 元彦

番号	3-4	事業名	防災庁地方拠点設置に向けた啓発活動									
予算額	(R8予算額)	2,359	千円	(R7決算額)	2,329	千円	(R7予算額)	2,363	千円	区分	継続(H28～)	
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
過去の災害の教訓を踏まえ、事前対策から復旧・復興まで一連の災害対策を担う「防災庁」の地方機関を関西へ設置することの重要性について国民的な理解を深めるため、防災イベント等の機会を捉えてセミナー、シンポジウムを開催するなどの啓発に取り組む。				防災庁の地方機関を関西へ設置することの重要性について、国、国民、関係機関等の理解を深める。								
(セミナー実施:2回)		(										

関西広域連合の広域観光・文化・スポーツ振興分野(観光・文化の振興)に係る施策運営目標

目標設定者: 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

基本目標 (目指すべき将来像)	文化と観光で織りなす「創造の関西」、生涯スポーツ先進地域・スポーツの聖地・スポーツツーリズム先進地域関西 文化庁や経済界、観光・文化関係団体など一体となったオール関西体制で、万博を契機に関西一円の広域観光につなげた取組の様々な成果を万博のレガシーとして活用しながら、関西が新たな価値を生み出し、世界に発信し続けるクリエイティブな地域となることを目指す。
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—

施策運営目標1 (重点方針)	文化や自然など多様な資源を活用した関西の魅力づくり	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	関西各地の魅力の観光面での活用の促進		
対応方針	関西で育まれてきた多様な有形・無形の文化資源や、豊かな自然、食、地域に根差した産業などを活かし、関西各地の魅力づくりを進め、観光面での活用を促進する。		

番号	1-1	事業名											テーマ別観光推進事業																													
予算額		(R8予算額)			1,039			千円			(R7決算額)			1,000			千円			(R7予算額)			1,039			千円			区分		継続(R4～)											
アウトプット										アウトカム										評価																						
目標 (目標数値)					達成状況 (達成数値)					目標 (目標数値)					達成状況 (達成数値)					アウトプット評価					アウトカム評価																	
国内外観光客の誘客と関西への来訪動機づくりのため、関西に点在する共通のテーマの観光資源について磨き上げを行い、「テーマツーリズム」を推進する。今年度は「工芸」をテーマとした広域周遊観光ルートの造成に取り組む。										テーマツーリズム等を通じて関西の魅力をPRすることにより、「KANSAI」ブランドの認知度向上と訪日観光客の関西への誘客を図る。																																
(「工芸」をテーマとした広域周遊観光ルートの造成:2ルート)					(					(					(					(																						
今後5年間の目標数値		—								5年後の目標数値			—							-					-																	
昨年度からの改善内容		昨年度の「関西の城たび」とは別のテーマである、「工芸」をテーマとした広域周遊観光ルートの造成に取り組む。																																								
令和8年度の課題		「工芸」をフックとした関西の人気エリアから周辺部への周遊観光を推進する必要がある。																																								
令和9年度の対応方針																																										

関西広域連合の広域観光・文化・スポーツ振興分野(観光・文化の振興)に係る施策運営目標

目標設定者: 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

施策運営目標2 (重点方針)	関西の多様な魅力を活かした広域周遊観光の更なる推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	関西各地の更なる広域周遊観光の促進		
対応方針	関西各地の更なる広域周遊観光の促進を図るため、観光情報の積極的な発信に取り組む。		

番号	2-1	事業名	海外観光プロモーション事業										
予算額	(R8予算額)	9,114	千円	(R7決算額)	8,408	千円	(R7予算額)	9,114	千円	区分	継続(H26年度～)		
アウトプット						アウトカム				評価			
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
「関西」を魅力ある観光圏として海外に発信するため、構成府県市や関西の経済界等との連携により、観光プロモーションを戦略的に実施する。						海外へのプロモーションを通じて、「KANSAI」ブランドの認知度向上と訪日観光客の関西への誘客を図る。							
(海外向けプロモーション等の実施回数:3回)			()			(海外在住の訪日検討層に対するインターネットアンケートで「関西に行きたい」と回答した割合:57%(訪 関西意向率))			()				
今後5年間の目標数値		—				5年後の目標数値		海外在住の訪日検討層に対するインターネットアンケートで「関西に行きたい」と回答した割合:61%(訪関西意向率)				—	—
昨年度からの改善内容		万博で更に高まった関西のブランド力を生かしたプロモーションを行う。											
令和8年度の課題		万博で更に高まった関西のブランド力を生かした広域観光の推進に取り組む必要がある。											
令和9年度の対応方針													

関西広域連合の広域観光・文化・スポーツ振興分野(観光・文化の振興)に係る施策運営目標

目標設定者: 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

施策運営目標3 (重点方針)	受入環境の整備	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	外国人観光客の利便性向上		
対応方針	外国人旅行者が安全・快適に旅行を満喫できるよう、多言語での情報提供のほか、通訳案内士などの観光人材の育成に取り組む。		

番号	3-1	事業名	通訳案内士等の人材育成事業										
予算額	(R8予算額)	2,526	千円	(R7決算額)	1,319	千円	(R7予算額)	2,526	千円	区分	継続(H26年度～)		
アウトプット						アウトカム				評価			
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価			
関西を訪れる訪日外国人観光旅客の視点に立ち、安心して関西観光が楽しめるよう、全国通訳案内士登録に関する業務を行うとともに、通訳案内士等の人材育成を図るため、通訳案内士を対象としたスキルアップ研修会を開催する。				通訳案内士のスキルアップを図ることにより、外国人旅行者の満足度を高め、再来訪意識と誘客を促進する。									
(研修受講者数:200人)		()		(習熟度80%以上(受講者からのアンケート))		()							
今後5年間の目標数値	研修受講者数:年200人			5年後の目標数値		習熟度80%以上(受講者からのアンケート)			-		-		
昨年度からの改善内容		広域周遊する外国人観光客のニーズに幅広く対応するため、観光客集中エリア以外で実地研修を実施する。											
令和8年度の課題		ワールドマスターズゲームズ等を契機とした多様な外国人旅行者の訪日に備え、通訳案内士の更なるスキルアップに努める必要がある。											
令和9年度の対応方針													

番号	3-2	事業名	関西周遊環境の整備事業										
予算額	(R8予算額)	12,000	千円	(R7決算額)	17,000	千円	(R7予算額)	17,000	千円	区分	継続(R2年度～)		
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価			
関西圏域内の観光情報サイト「The Gate to KANSAI」等へ誘導することにより、訪関西観光客に旅ナカ情報を提供する。				日本滞在中の訪日外国人観光客が、収集した旅ナカ情報を活用することにより、関西の滞在日数が増加し、広域の観光促進の促進が図られる。									
(①「The Gate to KANSAI」の年間訪問者数:120万人 ②年間閲覧数:400万PV)		()		(海外在住の訪日検討層に対するインターネットアンケートで「関西に行きたい」と回答した割合:57%(訪関西意向率))		()							
今後5年間の目標数値	①「The Gate to KANSAI」の年間訪問者数:年120万人 ②年間閲覧数:年400万PV			5年後の目標数値		海外在住の訪日検討層に対するインターネットアンケートで「関西に行きたい」と回答した割合:61%(訪関西意向率)		-		-			
昨年度からの改善内容	旅ナカ情報の発信の充実など、関西を訪れる訪日外国人旅行者が関西を周遊しやすい環境を整備する。												
令和8年度の課題	多くの方に利用いただくため、発信情報が参照されやすくなるよう努める必要がある。												
令和9年度の対応方針													

19

関西広域連合の広域観光・文化・スポーツ振興分野(観光・文化の振興)に係る施策運営目標

目標設定者: 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

施策運営目標4 (重点方針)	観光振興のための連携強化	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	関西観光本部と協力した、広域観光推進体制の強化		
対応方針	関西観光本部と連携し、官民一体となって、広域観光を万博のレガシーとして発展させ、観光周遊の更なる促進に取り組む。		

番号	4-1	事業名	官民連携等による広域観光の推進事業										
予算額		(R8予算額)	38,000	千円	(R7決算額)	32,000	千円	(R7予算額)	32,000	千円	区分	継続(H29年度～)	
アウトプット						アウトカム					評価		
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)		アウトプット評価	アウトカム評価	
関西広域での観光客誘致の推進を目的として、官民が一体となって設立した一般財団法人関西観光本部等と協力しながら、大阪・関西万博に向けて構築した広域観光推進体制を継続活用し、万博レガシーを継承し、かつワールドマスターズゲームズ2027開催地である関西への更なる広域観光振興を図るため、様々な観光プロモーション事業等を戦略的に実施する。						関西観光本部と連携した関西各地の情報発信やプロモーションを通じて、訪日観光客の関西への誘客を図る。							
(官民連携による海外メディア招請及び情報発信、商談会への出展回数:3回)			()			(訪日外国人の関西(近畿運輸局管内)での平均泊数 6.0泊)			()				
今後5年間の目標数値		—				5年後の目標数値		訪日外国人の関西(近畿運輸局管内)での平均泊数 6.5泊				—	—
昨年度からの改善内容		万博レガシーを継承し、かつワールドマスターズゲームズ2027開催地である関西への更なる広域観光振興を図る。											
令和8年度の課題		万博レガシーを継承し、かつワールドマスターズゲームズ2027開催地である関西への更なる広域観光振興を図る必要がある。											
令和9年度の対応方針													

関西広域連合の文化分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

基本目標 (目指すべき将来像)	個性や強み、歴史や文化を活かして、新たな価値を創造・発信し、世界の中で輝く関西
	世界文化遺産をはじめとする関西が有する多彩な文化資源を最大限に活用し、観光やスポーツ等のコンテンツとの融合により、新たな価値を創出し、関西のブランド力を一層向上させ、日本の美とこころを関西から世界に発信する。
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—

施策運営目標 (重点方針)	多様な文化資源の振興や魅力向上の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	関西の多様な文化資源の魅力を発信し、各地への周遊を促すことで、より一層の関西の活性化に繋げる必要がある。		
対応方針	関西文化の魅力を国内外へアピールする。		

番号	1-1	事業名	文化資源等魅力発信事業										
予算額	(R8予算額)		4,000	千円	(R7決算額)	2,716	千円	(R7予算額)	4,000	千円	区分	継続(R1～)	
アウトプット						アウトカム					評価		
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価
関西の文化資源の魅力を国内外に発信し、関西各地への周遊を促すため、専用ホームページの多言語対応を行う。						関西の文化資源の認知度向上を通じて、「ワールドマスターズゲームズ2027関西」参加者等の関西周遊を促進する。							
(専用ホームページの多言語対応 2言語(日本語・英語))			()			(専用ホームページのページビュー数 6万ページビュー)							
今後5年間の目標数値		(専用ホームページの多言語対応 2言語(日本語・英語))				5年後の目標数値		(専用ホームページのページビュー数 年6万ページビュー)			-	-	
昨年度からの改善内容		国外への発信力を強化するため、広域観光・文化・スポーツ振興局観光課と連携した取組を実施											
令和8年度の課題		「ワールドマスターズゲームズ2027関西」の開催に向けて、関西の文化資源の魅力を発信すること											
令和9年度の対応方針		関西の文化資源の魅力を国内外に発信する取組を実施											

関西広域連合の文化分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

番号	1-2	事業名	関西圏文化観光促進DX推進事業									
予算額	(R8予算額)	6,800	千円	(R7決算額)	5,800	千円	(R7予算額)	6,800	千円	区分	継続(R4～)	
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
デジタルバス「ミュージアムぐるっとバス・関西」の利用を促進し、文化観光をつなげるため、インフルエンサーを起用したショート動画による広報を行う。				デジタルバス「ミュージアムぐるっとバス・関西」の認知度向上を通じて、関西ミュージアムへの来訪や関西周遊を促進する。								
(ショート動画の制作・配信回数 7回)		(										

番号	1-3	事業名	関西文化芸術支援情報発信事業										
予算額		(R8予算額)	400	千円	(R7決算額)	400	千円	(R7予算額)	400	千円	区分		
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
関西エリアの文化芸術に関して、構成府県市が取り組んでいる支援策や相談窓口の状況等を取りまとめ、関西広域連合ホームページで発信する。						関西の文化芸術関係者が必要な支援の情報を知ることができる。							
(ホームページを適宜更新)			()			(「関西の文化芸術関係者に向けた支援や相談窓口について」のPV: 700PV以上)			()				
今後5年間の目標数値		(ホームページを適宜更新)				5年後の目標数値		(「関西の文化芸術関係者に向けた支援や相談窓口について」のPV: 年700PV以上)				-	-
昨年度からの改善内容		他支援情報と一体的に発信し、より活用しやすいサイトの運用を図る。											
令和8年度の課題		文化芸術活動への支援内容等について、継続して情報発信の充実を行う。											
令和9年度の対応方針		文化芸術活動への支援内容等について、継続して情報発信の充実を行う。											

関西広域連合の文化分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

施策運営目標 (重点方針)	連携交流による文化観光の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	事業実施のための連携交流をさらに深める必要がある。		
対応方針	構成団体や官民の連携交流を通じて、関西文化のブランド力を向上させ、広域周遊につなげる。		

番号	2-1	事業名	関西プレゼンツ「世界文化遺産」等発信事業									
予算額	(R8予算額)	1,557	千円	(R7決算額)	1,450	千円	(R7予算額)	1,557	千円	区分	継続(H26～)	
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
次世代を対象に、世界文化遺産、日本遺産をはじめとする関西の文化資源等を体験するプログラムの構築、実施。				参加者アンケートの実施								
(構築する次世代プログラム 2以上)		()		(文化資源等への関心が高まった回答者 90%以上)		()						
今後5年間の目標数値	(構築する次世代プログラム 12構成府県市)			5年後の目標数値	(文化資源への関心が高まった回答者 95%)			-		-		
昨年度からの改善内容	歴史文化遺産等への興味関心を高めるため、次世代を対象として、関西各地で世界文化遺産、日本遺産をはじめとする関西の文化資源を発信											
令和8年度の課題	次世代の興味を喚起し、文化の継承に資する魅力的な体験プログラムの考案、実施											
令和9年度の対応方針	世界文化遺産、日本遺産をはじめとした文化的資産をはじめ、近代建築、マンガアニメなどの新たな文化も含めた関西各地の多様な文化を次世代が体験できるプログラムを構築し、関西の多彩な魅力を発信											

関西広域連合の文化分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

施策運営目標 (重点方針)	文化と経済の好循環の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	文化と産業を融合させた新たな文化振興が必要である。		
対応方針	行政や様々な分野の専門家、関係機関等の協働により、次世代の新しい日本文化を創造、発信する取組を推進する。		

番号	3-1	事業名	文化創造イノベーション推進事業									
予算額		(R8予算額)	8,000	千円	(R7決算額)	8,000	千円	(R7予算額)	8,000	千円	区分	継続(H26～)
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
アーティストと企業などの異分野交流を推進し、新たな文化創造と文化芸術を活かした新たなビジネス創出や街づくりを促進する。				文化関係者と企業・行政等の出会いの場を創出することで、新たなビジネス創出につなげる。								
(交流会の開催:1回、参加数:200)		()		(文化分野への関心が高まった企業:70%以上)		()						
今後5年間の目標数値		(交流会の開催:5回、参加数:1,000人)		5年後の目標数値		(文化分野への関心が高まった企業:75%以上)		-	-			
昨年度からの改善内容		アーティスト・企業・行政など様々なセクターの人々が出会い、文化芸術を活かした新たなビジネスにつながる機会を創出										
令和8年度の課題		引き続き、産官学が連携し、新たな文化創造に向けた具体的な事業の推進										
令和9年度の対応方針		アーティスト・企業・行政など様々なセクターの人々が出会い、文化芸術を活かした新たなビジネスにつながる機会を創出する。										

関西広域連合のスポーツ分野に係る施策運営目標

目標設定者： スポーツ振興担当委員 齋藤 元彦

基本目標 (目指すべき将来像)	新しい時代の文化・観光首都“関西”、生涯スポーツ先進地域・スポーツの聖地・スポーツツーリズム先進地域“関西”	
	各競技において「聖地」と称される競技場をはじめとするスポーツ資源を活かし、「ワールドマスターズゲームズ2027関西JAPAN」の開催に向けた生涯スポーツの機運の高まりをスポーツ参画人口拡大に繋げるとともに、観光・文化資源とスポーツを融合したプログラムを開発・展開し、将来の実現を目指す。	
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—	

施策運営目標 (重点方針)	「生涯スポーツ先進地域関西」の実現	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	子供や子育て層のスポーツ参加機会の拡充を図るとともに、地域のスポーツ振興に向けた広域連携による支援が必要である。		
対応方針	生涯スポーツの機運を更に高めるとともに、構成府県市と連携し、中・高年層のスポーツ参加機会の拡充を図る。		

番号	1-1	事業名	こども向けスポーツイベントの開催									
予算額	(R8予算額)	300	千円	(R7決算額)	300	千円	(R7予算額)	300	千円	区分	継続(H29～)	
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価	アウトカム評価	
運動習慣の定着を図るため、こども・親子向けのスポーツイベントや大会等を開催する。						スポーツ参画の機会を創出することで、スポーツ実施者を増やす。						
(実施1回)			()			(スポーツ交流大会参加者アンケートから参加者の満足度:85%以上)		()				
今後5年間の目標数値		(実施各年1回)			5年後の目標数値		(満足度85%)			-	-	
昨年度からの改善内容		スポーツクラブ同士の交流大会を行うことを必ずしも求めず、既存の府県市が行うイベントと併催するなど、運営の効率化を目指す。										
令和8年度の課題												
令和9年度の対応方針												

番号	1-2	事業名	デジタル技術を活用した日々の運動習慣の促進									
予算額	(R8予算額)	1,600	千円	(R7決算額)	1,600	千円	(R7予算額)	1,600	千円	区分	継続(R4～)	
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
日々の運動習慣の促進と定着を図るため、デジタル技術を活用したウォーキング等のスポーツイベントを開催し、「関西スポーツの日」「関西スポーツ月間」とともにWMG2027関西についても啓発する。 期日：5月1日(金)～6月30日(火)				運動機会を創出することで、スポーツ実施者を増やす。								
(実施1回)		()		(参加人数8,000人以上)		()						
今後5年間の目標数値	(実施各年1回)			5年後の目標数値	(参加人数 年8,000人以上)			-		-		
昨年度からの改善内容	WMG2027関西の機運醸成にも取り組みつつ、日々の運動をより促進できるよう体制を整える。											
令和8年度の課題												
令和9年度の対応方針	25											

関西広域連合のスポーツ分野に係る施策運営目標

目標設定者： スポーツ振興担当委員 齋藤 元彦

番号	1-3	事業名「関西マスターズゲームズ」の開催									
予算額		(R8予算額) 6,450 千円		(R7決算額) 5,405 千円		(R7予算額) 6,450 千円		区分	継続(H29～)		
アウトプット						アウトカム				評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価	
令和3年度まで開催していた「関西シニアマスターズ」とワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会が開催している「関西マスターズスポーツフェスティバル」を統合し、健常者や障がい者も参加可能なインクルーシブな大会として実施する。				成人のスポーツ参加機会の拡充。							
(①広域大会:全構成府県市 ②地域大会:全構成府県市)		()		(①参加人数:広域大会7,000人以上 ②参加人数:地域大会85,000人以上)		()					
今後5年間の目標数値		(①広域大会:全構成府県市、②地域大会:全構成府県市)		5年後の目標数値		(①参加人数:広域大会 年7,000人以上、 ②参加人数:地域大会 年85,000人以上)		-		-	
昨年度からの改善内容		全構成府県と大会情報について共有を図り、アウトカム指標の達成に向け、構成府県市と連携し、取り組む。									
令和8年度の課題											
令和9年度の対応方針											

番号	1-4	事業名「ワールドマスターズゲームズ関西」等の機運醸成に向けた取組み									
予算額		(R8予算額)3,600千円		(R7決算額)1,093千円		(R7予算額)1,200千円		区分	継続(H29～)		
アウトプット				アウトカム					評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価	
構成府県市や各府県市ワールドマスターズゲームズ実行委員会等と連携し、「ワールドマスターズゲームズ関西」や「関西スポーツの日」、「関西スポーツ月間」を広報、啓発するキャンペーンやイベントを開催する。				機運醸成に向けた取り組みを通じて、地域のスポーツ振興に向けた広域的連携を図る。							
(全構成府県市実施)		()		(参加者数20,000人以上)		()					
今後5年間の目標数値		()		5年後の目標数値		()		-		-	
昨年度からの改善内容		来年度開催に向け、引き続き機運醸成イベントを実施する。									
令和8年度の課題											
令和9年度の対応方針											

関西広域連合のスポーツ分野に係る施策運営目標

目標設定者： スポーツ振興担当委員 齋藤 元彦

番号	1-5	事業名	パラスポーツ体験会の開催										
予算額		(R8予算額)	2,380	千円	(R7決算額)	1,895	千円	(R7予算額)	2,380	千円	区分	継続(H29～)	
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
府県市単位では開催の難しいパラスポーツの競技種目の体験会を大型商業施設などPR効果の高い会場で一般利用者向けに開催する。 (体験会7府県市実施)						障害の有無を問わず、全ての人々のライフステージに応じたスポーツ活動を支援するため、障害者が気軽にスポーツに参加できる機会の拡充を図る。 (パラスポーツ体験会参加者アンケートから参加者の満足度:85%以上)							
今後5年間の目標数値		(体験会7府県市実施)				5年後の目標数値		(パラスポーツ体験会参加者アンケートから参加者の満足度:85%以上)				-	-
昨年度からの改善内容		体験会の情報を全構成府県市に発信する。											
令和8年度の課題													
令和9年度の対応方針													

番号	1-6	事業名	企業等表彰制度の実施								
予算額		(R8予算額) 500 千円		(R7決算額) 445 千円		(R7予算額) 500 千円		区分	継続(R1～)		
アウトプット				アウトカム					評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価	
経済団体と連携し、スポーツ振興に積極的な企業やスポーツを通じて健康経営に積極的に取り組む企業や審判員に対する「関西スポーツ応援企業」表彰を実施し、企業がスポーツ振興に取り組む機運の醸成を図る。				機運醸成に向けた取組を通じて地域のスポーツ振興に向けた広域的連携を図る。							
(実施1回)		()		(全構成府県市から応募)		()					
今後5年間の目標数値		(実施各年1回)		5年後の目標数値		(全構成府県市から応募)		-		-	
昨年度からの改善内容		全構成府県市と連携し、募集に向けた情報の発信をより強化する。									
令和8年度の課題											
令和9年度の対応方針											

関西広域連合のスポーツ分野に係る施策運営目標

目標設定者： スポーツ振興担当委員 齋藤 元彦

施策運営目標 (重点方針)	「スポーツの聖地関西」の実現	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	スポーツ人材の育成とともに、スポーツイベントの実施及び取組事例発信等、国際競技大会等のレガシーの創出及び継承が必要である。		
対応方針	府県市では、強化・育成が難しい競技種目の練習会等を広域連合として開催し、構成府県市と連携したスポーツ人材の育成を目指す。		

番号	2-1	事業名	パラスポーツアスリート育成練習会の開催									
予算額		(R8予算額)	885	千円	(R7決算額)	873	千円	(R7予算額)	885	千円	区分	継続(H29～)
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
競技人口が少ない競技種目やパラスポーツ競技種目など府県市単位では強化・育成が難しいアスリート向けの練習会を開催する。				府県市単位では、強化・育成が難しい競技種目の練習会を開催することで、構成府県市が連携したスポーツ人材の育成やパラスポーツの振興が期待できる。								
(練習会5府県市実施)		()		(育成練習会参加者アンケートから参加者満足度:85%以上)		()						
今後5年間の目標数値		(練習会5府県市実施)		5年後の目標数値		(育成練習会参加者アンケートから参加者満足度:85%以上)		-		-		
昨年度からの改善内容		練習会の情報を全構成府県市に発信し、参加人数の増加を図る。										
令和8年度の課題												
令和9年度の対応方針												

番号	2-2	事業名	スポーツ指導者講習会の実施								
予算額	(R8予算額)	2,100	千円	(R7決算額)	2,051	千円	(R7予算額)	2,100	千円	区分	継続(H29～)
アウトプット						アウトカム				評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価	
あらゆる競技の指導に応用できる普遍的なコーチング技術などについて実績のある著名な指導者等を招聘し、関西圏域内のスポーツ指導者に向けた講習会を開催する。				講習会の開催により、関西圏域内のスポーツ指導者の資質や指導力の向上が期待できる。							
(実施1回)		()		(指導者講習会参加者アンケートから参加者の満足度:85%以上)		()					
今後5年間の目標数値	(実施各年1回)			5年後の目標数値		(指導者講習会参加者アンケートから参加者の満足度:85%以上)			-		-
昨年度からの改善内容	講習会の情報を積極的に全構成府県市に発信し、参加人数の増加を目指す。										
令和8年度の課題											
令和9年度に対応方針											

関西広域連合のスポーツ分野に係る施策運営目標

目標設定者： スポーツ振興担当委員 齋藤 元彦

施策運営目標 (重点方針)	「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	広域観光・文化振興と連携した事業を展開し、スポーツの持つ多様な価値を生かし、スポーツによる地域振興方策等について検討することが必要である。		
対応方針	インバウンドをはじめとしたツーリズムを拡充させる絶好の機会を迎えることから、広域的なスポーツツーリズムの整備・促進を図る。		

番号	3-1	事業名	観光・文化資源を融合させたスポーツの推進									
予算額	(R8予算額)	2,500	千円	(R7決算額)	2,420	千円	(R7予算額)	2,500	千円	区分	継続(H30～)	
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
・スポーツと関西に集積する多彩な観光・文化資源を融合し、周遊プログラムとして開発した「関西広域サイクリングルート」について、ホームページ等により情報発信するとともに、デジタル技術を活用したイベントを開催する。				イベントを通じて、関西の観光・文化資源を理解・体験する。								
(実施1回)		()		(参加人数500人以上)		()						
今後5年間の目標数値	(実施各年1回)			5年後の目標数値	(参加人数 年500人以上)				-		-	
昨年度からの改善内容	事前周知や定期的なSNSの更新など、広報内容の見直しを図る。											
令和8年度の課題												
令和9年度の対応方針												

関西広域連合の広域観光・文化・スポーツ振興(ジオパークの推進)分野に係る施策運営目標

目標設定者： ジオパーク推進担当委員 平井 伸治

基本目標 (目指すべき将来像)	文化と観光で織りなす「創造の関西」、生涯スポーツ先進地域・スポーツの聖地・スポーツツーリズム先進地域関西		
	関西の多様な文化、豊かな自然や景観、地域に根差した産業などの魅力を活かすとともに、新しい魅力を創出し続け、地域と調和した観光振興が、地域の環境・文化・経済を守り育むことにつながるなど、訪れてよし・住んでよしの持続可能な観光が実現している。		
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	なし		

施策運営目標 (重点方針)	文化や自然など多様な資源を活用した関西の魅力づくり	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	ジオパークを活用したインバウンドの推進		
対応方針	関西広域連合管内ジオパークを巡る周遊観光促進、国内外に向けた魅力発信、ジオパークに通じた人材の育成		

番号	1	事業名	万博レガシーを活かしたジオパークの魅力発信・周遊促進														
予算額	(R8予算額)		1,100		千円		(R7決算額)		1,100		千円		区分	継続(H30年度～)			
アウトプット										アウトカム					評価		
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価			アウトカム評価		
○関西広域連合管内ジオパークを巡る周遊観光促進 ・大阪・関西万博でのジオパークのアピールを活かした、ファムトリップ及び旅行商品造成を実施 ○国内外に向けた魅力発信 ・国内外での各種イベント等でのプロモーションの展開 ○ジオパークに通じた人材の育成 ・ジオパークのガイドスキル向上等を図るための研修の実施 (各種イベント等でのプロモーション実施回数:5回以上 ジオパーク旅行商品の造成及び販促:3商品以上 ガイドスキル向上等を図るための研修実施回数:1回)						ジオパークの魅力発信、PR等の取り組みにより国内外からの誘客を図る。 (ジオパーク拠点施設の入込客数:年80万人)											
今後5年間の目標数値		(各種イベント等でのプロモーション実施回数:25回以上 ジオパーク旅行商品の造成及び販促:19商品以上 ガイドスキル向上等を図るための研修実施回数:5回)					5年後の目標数値		(ジオパーク拠点施設の入込客数:年80万人)					-		-	
昨年度からの改善内容			大阪・関西万博でのジオパークのアピールを活かし、ファムトリップの実施や旅行商品造成、関西国際空港及び海外の旅行博、海外トッププロモーションによる情報発信により関西広域周遊観光の促進を図る。														
令和8年度の課題			関西広域連合管内ジオパークの認知度向上														
令和9年度の対応方針																	

関西広域連合の広域産業振興分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興担当委員 吉村 洋文

基本目標 (目指すべき将来像)	世界の中で輝き日本の未来を牽引する関西、産業を支える多様な人材が活躍する関西
	大阪・関西万博をインパクトとして、関西が誇る産業の強み・ポテンシャルを活かし、イノベーションの創出・展開を図るとともに、関西産業の魅力の発信を通じて、国内外での存在感を発揮し、投資や変革を生み出すチャレンジ人材等を惹きつけることなどにより、「新たな価値の創出」と「多様な人材の活躍」の好循環を実現し、持続的な成長・発展を遂げる関西を目指す。
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	令和7年度施策運営目標の評価結果を踏まえ、次年度の事業にどのように活かしていくかが重要であることから、評価結果を反映し策定した。

施策運営目標 (重点方針)	関西の優位性を活かしたイノベーションの創出・発展	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	大阪・関西万博を契機に国内外で高まった関西のポテンシャル等への関心を継続・発展させるため、情報発信の更なる強化が必要。また、万博を契機に生まれたビジネス交流やイノベーションの成果を着実に根付かせるなど継続的な取組が必要。		
対応方針	関西が優位性を持つ成長分野やスタートアップ・エコシステムの情報発信を強化するとともに、域内企業と国内外の企業、研究機関、大学等とのマッチングやネットワーク化に取り組み、高いポテンシャルの維持・強化を図る。また、万博で披露された最先端技術等の実装化・産業化を推進する。		

番号	1-1	事業名	関西スタートアップ・エコシステムの推進									
予算額	(R8予算額)	10,043	千円	(R7決算額)	9,839	千円	(R7予算額)	10,043	千円	区分	継続(R3～)	
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
関西のディープテック・スタートアップを生み出すポテンシャルを訴求し、国内外の様々なスタートアップ、投資家、人材、企業の集積を目的に情報発信を実施する。 ①海外データベース等の登録:新規50件 ②国内外への、SNS、メディア等を使った情報の発信:50件 ③構成府県市が一体となった、イベントの開催:2回				国内外への関西スタートアップ・エコシステムの魅力、ポテンシャル、将来性等の発信による、関西スタートアップ・エコシステムの認知度向上 「Global Startup Ecosystem Ranking」新興エコシステム部門79位以上								
今後5年間の目標数値	海外データベース等の登録:累積700件 ・国内外への、SNS、メディア等を使った情報の発信:347件 ・構成府県市が一体となった、イベントの開催:10回			5年後の目標数値	「Global Startup Ecosystem Ranking」などのランキングの維持向上			-	-			
昨年度からの改善内容		令和7年度に策定した新たな情報発信戦略(2025-2029)に基づき、国際イベントと連携した発信等により、国内外での情報発信の強化を行う。										
令和8年度の課題		-										
令和9年度の対応方針												

関西広域連合の広域産業振興分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興担当委員 吉村 洋文

番号	1-2	事業名	ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化										
予算額	(R8予算額)	3,841	千円	(R7決算額)	2,882	千円	(R7予算額)	2,886	千円	区分	継続(R3～)		
アウトプット						アウトカム					評価		
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)		アウトプット評価	アウトカム評価	
海外に訴求力のある大規模展示会やイベントへの参加により、関西のライフサイエンス分野の強み・ポテンシャルを広く発信。国内外における関西の認知度・存在感の向上を図る。						国内外から関西への人(企業)、もの(技術)、情報等の流入が促進し、関西広域連合域内の関連産業の振興につなげる。							
(①BioJapanマッチング申込件数:参加企業数×20件以上 ②BioJapan期間中、関西広域連合ブースに誘引するため関西広域連合のパンフレットを手交:450部以上)			()			(BioJapanマッチング件数:参加企業数×6倍以上)			()				
今後5年間の目標数値		引き続きBioJapan等のイベント出展を行う場合 ①BioJapanマッチング申込件数:R7参加企業数×20件×5年 ②BioJapan期間中、関西広域連合ブースに誘引するため関西広域連合のパンフレットを手交:2,250部以上				5年後の目標数値		引き続きBioJapan等のイベント出展を行う場合 マッチング件数:R7参加企業数×6倍×5年 マッチング件数を増やすことで、参加企業の事業展開へと発展する機会を増やし、関西広域連合域内の関連産業の振興につなげる。				-	-
昨年度からの改善内容		ー											
令和8年度の課題		令和9年度の事業のあり方を検討する。											
令和9年度の対応方針													

関西広域連合の広域産業振興分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興担当委員 吉村 洋文

番号	1-3	事業名「カーボンニュートラル先進技術フォーラム」の実施									
予算額		(R8予算額) 1,788 千円		(R7決算額) 1,069 千円		(R7予算額) 1,781 千円		区分	継続(H27～)		
アウトプット						アウトカム				評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価	
(フォーラムの参加者数:220人以上)				広域連合域内のグリーン分野でのイノベーション創出に向けて、参加企業が先進技術等を把握することで、事業活動の促進につなげる。							
今後5年間の目標数値		累計参加人数1,100人		5年後の目標数値		70%以上の数値を維持		-		-	
昨年度からの改善内容		大学等の研究成果に加えて、ビジネス化に向けた企業の取組みを域内の企業に広く発信することにより、企業間連携によるビジネス機会の創出等を図る。									
令和8年度の課題		－									
令和9年度の対応方針											

番号	1-4	事業名	万博を契機としたビジネス交流の展開と最先端技術の実装化推進等によるイノベーションの創出								
予算額	(R8予算額)	19,700	千円	(R7決算額)		千円	(R7予算額)	千円	区分	新規	
アウトプット						アウトカム				評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価	
世界最大級のスタートアップイベントで広域連合ブースを出展し、海外のスタートアップ関係者に向けて、ディープテックを中心とした、関西の強み、ポテンシャルを発信する。 情報発信の主なターゲット： 海外のスタートアップ、企業、専門人材、投家、VC・CVC				大阪・関西万博を契機に醸成された産業分野における国内外との連携関係を活用し、域内企業やスタートアップの成長に向けたグローバルなネットワーク構築や、ビジネスマッチング、販路開拓を支援する。							
(域内のスタートアップ企業4社の出展を支援する)		()		(出展支援を行ったスタートアップのマッチング件数 :160件以上)		()					
今後5年間の目標数値		-		5年後の目標数値		-		-		-	-
昨年度からの改善内容		-									
令和8年度の課題		-									
令和9年度の対応方針											

関西広域連合の広域産業振興分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興担当委員 吉村 洋文

施策運営目標 (重点方針)	高付加価値化による中堅・中小企業等の持続的成長	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	多様な機関等との連携により域内のリソースを最大限に活用した企業支援の継続的な取組が必要。		
対応方針	公設試験研究機関と経済界との連携により域内の技術支援機能を向上させ中堅・中小企業等を支援していく。		

番号	2-1	事業名 関西の産業力強化を目的とした広域的プラットフォーム構築										
予算額	(R8予算額)	49,984	千円	(R7決算額)	23,816	千円	(R7予算額)	25,498	千円	区分	継続(H24～)	
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
関西広域連合域内の公設試による企業に対する技術支援サービスに事業化支援機能を付加させ、域内の多様な機関が連携し、シームレスに企業を支援する広域的PFをオール関西で構築し、イノベーションが生まれる環境の創出を図る。				域内公設試と多様な関係機関との広域的な連携による企業支援体制の強化により、中堅・中小企業の成長や域内中小企業の事業化につなげる								
①「かんさいラボサーチ」アクセス件数:32,000件以上 ②公設試職員向け研修・交流会の参加者数:75名以上				①利用企業の満足度:80%以上 ②公設試等のシーズに対する企業ニーズとのマッチング(面談)の件数:25件以上								
今後5年間の目標数値		①「かんさいラボサーチ」アクセス件数:160,000件以上 ②公設試職員向け研修・交流会の参加者数:375名以上		5年後の目標数値		①利用企業の満足度:80%以上を維持 ②公設試等のシーズに対する企業ニーズとのマッチング(面談)の件数:125件		-		-		
昨年度からの改善内容		新たに公設試職員からコーディネーターを登用するなど、人材の確保により、支援水準の維持・向上を図った。										
令和8年度の課題		事業化のさらなる推進を図るため、「かんさいラボサーチ」を通じた情報発信等による域内中小企業ニーズの掘り起こしを行うとともに、公設試等有するシーズの発掘にも注力し、企業ニーズに結び付ける。また、支援機能を維持・向上のため、引き続き、「持続可能な仕組み」について、検討を進める。										
令和9年度の対応方針												

関西広域連合の広域産業振興分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興担当委員 吉村 洋文

施策運営目標 (重点方針)	特色のある産業を活かした地域経済の活性化	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	大阪・関西万博等を契機に国内外で高まった関西の強み・ポテンシャルの関心を継続・発展させるため、情報発信のさらなる強化が必要。		
対応方針	それぞれの地域の特色のあるものづくり企業やその製品の魅力、技術について、多様なチャネルやネットワークを活用して域内企業の魅力を国内外に発信することにより、それらの認知向上や人材確保、企業の販路及び市場の開拓を支援し、地域経済の活性化につなげていく。		

番号	3-1	事業名	地域産業の魅力発信・マーケットの拡大支援										
予算額	(R8予算額)	7,332	千円	(R7決算額)	3,122	千円	(R7予算額)	3,449	千円	区分	継続(R1～)		
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
○国内外向けプロモーション 関西が誇るものづくり技術やプロダクトのコアユーザーをさらに増やすため、地域に根差した伝統工芸等の製品展示や販売、ワークショップを複合させたプロモーションイベントを開催し、関西のものづくり産業のポテンシャルをPRすることで、関心をもつ層の拡大を図る。 ○海外向けプロモーション 大阪・関西万博の開催を契機に、関西への関心が高まったなか、海外とのビジネス交流のさらなる活性化に向け、先端技術や伝統工芸品などの5分野から注目企業を紹介するWEBサイトの運営など、関西の多様な産業や域内企業の魅力を国内のイベントを通じて海外へ発信する。 (													

関西広域連合の広域産業振興分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興担当委員 吉村 洋文

番号	3-2	事業名	広報活動や情報紙等による発信									
予算額	(R8予算額)	4,928	千円	(R7決算額)	4,216	千円	(R7予算額)	4,924	千円	区分	継続(H27～)	
アウトプット				アウトカム						評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
(企業の先進的な取組等を取り上げたビジネス情報紙・WEB版の発行:4回)		()		(情報紙読者の満足度:75%以上)		()						
今後5年間の目標数値	ビジネス情報紙・WEB版の発行:計20回			5年後の目標数値	情報紙読者の満足度:75%以上を維持			-	-			
昨年度からの改善内容	多くの企業の共通の課題である人材の確保・育成にかかるコンテンツの充実を図るとともに、メルマガ、SNS等によるタイムリーな情報発信に努める。											
令和8年度の課題	－											
令和9年度の対応方針												

番号	3-3	事業名	産業を支える多様な人材の活躍促進								
予算額	(R8予算額)	2,398	千円	(R7決算額)		千円	(R7予算額)	千円	区分	新規	
アウトプット						アウトカム				評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価	
創業をめざす人材の育成を促進するため、域内市町村の創業支援事業に活用できるeラーニング教材を提供する。 また、企業の人材活用やデジタル化の取組み等についてのセミナーを開催する。				域内で創業をめざす人材の育成・支援を後押しすること で、域内でより多くの創業者が誕生する環境をつくり地域経済の活性化を図る。 また、人材活用・働き方に関する情報を発信することで、中小企業の多様な人材の活躍を支える環境づくりを支援し、経済成長に必要な人材を惹きつけていく。							
(上 ・セミナーの開催:1回以上)		()		()		()					
今後5年間の目標数値		・eラーニング教材の導入市町村:100市町村以上 ・セミナーの開催:計5回以上		5年後の目標数値		・利用市町村アンケートで「創業支援に有効であった」と回答した割合:80%以上を維持 ・セミナーの参加者満足度:75%以上を維持		-		-	
昨年度からの改善内容		ー									
令和8年度の課題		市町村のニーズを聴取しながら、eラーニング教材の内容充実に向けた検討を行う。									
令和9年度の対応方針											

関西広域連合の農林水産分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興(農林水産部)担当委員

基本目標 (目指すべき将来像)	世界に開かれた経済拠点関西の創造 各構成府県市におけるこれまでの農林水産業に関する振興施策を十分に尊重し、かつこれらの施策と連携しつつ、農林水産業を関西の産業分野の一翼を担う競争力のある産業として育成・振興することを目指す。
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—

施策運営目標 (重点方針)	地産地消運動の推進による域内消費拡大	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	恒常的にエリア内農林水産物を活用する取組の促進		
対応方針	恒常的に食材を提供する企業の社員食堂や学校給食での利用推進、域内直売所間の交流によるエリア内農林水産物の消費拡大		

番号	1-1	事業名「おいしい！KANSAI応援企業」の登録									
予算額		(R8予算額) 3,576 千円		(R7決算額) 3,322 千円		(R7予算額) 3,475 千円		区分	継続(H25～)		
アウトプット						アウトカム				評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価	アウトカム評価
域内農林水産物の消費拡大を図るため、地産地消運動の趣旨に賛同する企業等を「おいしい！KANSAI応援企業」に登録し、ホームページで登録企業の社食メニューやCSR活動等を紹介するほか、当該食堂で域内農林水産物のPRイベントを実施する。						登録企業での域内食材を用いた料理の提供等により、域内農林水産物の消費拡大を図るとともに、社員へのPRを行う。					
(登録施設数:新規登録10施設)			()			(新規登録企業へのアンケートで「今年度、域内食材を使用した」の割合:80%以上)		()			
今後5年間の目標数値		(登録施設数:新規登録50施設)			5年後の目標数値		(新規登録企業へのアンケートで「今年度、域内食材を使用した」の割合:90%以上)		-		-
昨年度からの改善内容		登録企業数増加に向け、引き続き関係者と連携し周知を図る。									
令和8年度の課題		新規登録企業の掘り起こし									
令和9年度の対応方針											

関西広域連合の農林水産分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興(農林水産部)担当委員

番号	1-2	事業名	学校への特産農林水産物利用促進のための啓発									
予算額	(R8予算額)	4,686	千円	(R7決算額)	3,933	千円	(R7予算額)	4,787	千円	区分	継続(H25～)	
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価	アウトカム評価	
(域内農林水産物の提供学校数:32校) ()			児童の地産地消運動及び域内特産農林水産物への理解を深める。 (出前授業校へのアンケートで「域内農林水産物の理解が深まった」の割合:80%以上) ()									
今後5年間の目標数値		(域内農林水産物の提供学校数:のべ160校)			5年後の目標数値		(出前授業校へのアンケートで「域内農林水産物の理解が深まった」の割合:90%以上)			-	-	
昨年度からの改善内容		使用される食材の偏りをなくすため、提供に係る府県間の組み合わせを変更。										
令和8年度の課題		使用される食材の偏りの是正										
令和9年度の対応方針												

番号	1-3	事業名	直売所の交流促進										
予算額		(R8予算額)	1,000	千円	(R7決算額)	1,000	千円	(R7予算額)	1,000	千円	区分	継続(H25～)	
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
広域連合がマッチングを行うとともに、府県域を越えたイベントの支援を通じて、直売所間の交流促進及び新たな交流の創出を図る。						本イベントへの参加を通じて、域内産農林水産物のPRおよび消費拡大につなげる。							
(直売所間交流回数:10回)			()			(イベントに向いた店舗へのアンケートで「イベントに参加してよかった」の割合:80%以上)			()				
今後5年間の目標数値		(直売所間交流回数:のべ50回)				5年後の目標数値		(イベントに向いた店舗へのアンケートで「イベントに参加してよかった」の割合:90%以上)				-	-
昨年度からの改善内容		直売所間交流の新規交流を促すため、引き続き関係者と連携し、新規参加直売所の掘り起こしを行う。											
令和8年度の課題		直売所間交流の新規交流の増加											
令和9年度の対応方針													

関西広域連合の農林水産分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興(農林水産部)担当委員

施策運営目標 (重点方針)	国内外への農林水産物の販路拡大	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	国内外での情報発信機会の充実、輸出への機運醸成、域内の食品事業者・農水産物生産者と大型量販店や外食産業等との商談機会の創出		
対応方針	構成府県市のPRイベント等を活用、文化発信イベントへの参画、セミナーの開催、WEB型マッチング商談会の開催		

番号	2-1	事業名	食品輸出セミナーの開催								
予算額	(R8予算額)	112	千円	(R7決算額)	98	千円	(R7予算額)	112	千円	区分	継続(H28年度～)
アウトプット						アウトカム				評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価	
事業者向け海外輸出セミナーをWEB形式で開催し、時流やニーズに即したテーマ設定及び講師招聘を通じ、有益な情報を発信する。 昨年度と同様WEB開催とすることで参加の利便性を確保し、アンケート結果を踏まえた改善により、200名以上の参加者を目標とする。				セミナー参加者のアンケートにおいて、輸出に取り組むうで役に立った回答80%以上とする。 ニーズを反映したテーマ選定・講師招聘により、有益な情報を提供し、輸出促進に向けた機運醸成を図る。							
(セミナー開催1回、参加者200名以上)		()		(輸出に取り組むうで「役に立った」という回答:80%以上)		()					
今後5年間の目標数値		(セミナー開催5回、参加者1,000名以上)		5年後の目標数値		(輸出に取り組むうで「役に立った」という回答:80%以上)		-		-	
昨年度からの改善内容		昨年度と同セミナーを開催した際のアンケートをもとに、構成府県市や輸出に取り組む関西地域の事業者のニーズに沿ったセミナーを開催する。									
令和8年度の課題		社会情勢等を踏まえたテーマ設定を行うとともに、構成府県市と連携し、講師の選定及び管内事業者への効果的な周知に努める。									
令和9年度の対応方針											

番号	2-2	事業名	WEB型マッチング商談会の開催								
予算額	(R8予算額)	2,377	千円	(R7決算額)	2,377	千円	(R7予算額)	2,377	千円	区分	継続(R3年度～)
アウトプット						アウトカム				評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価	アウトカム評価
多様な販路の確保・拡大を図るため、大型量販店や外食産業などの食品関係バイヤーを15社以上招聘し、WEB型マッチング商談会を開催することで、域内事業者との間で100件以上の商談機会の創出を目指す。						WEB型マッチング商談会の実施を通じて、域内事業者の新たな販路の開拓や取引先の獲得につながる成果を生み出し、継続的な販売機会の創出を図る。					
(バイヤー15社以上招聘 100件以上の商談機会の創出)			()			(満足度80%以上、成約率10%以上)		()			
今後5年間の目標数値		(バイヤー75社以上招聘、500件以上の商談機会の創出)			5年後の目標数値		(満足度80%以上、成約率10%以上)		-		-
昨年度からの改善内容		昨年度の参加バイヤーに加えて新規バイヤーも積極的に招聘することで、参加事業者数の増加を狙い、商談マッチング率及び成約率の向上を図る。									
令和8年度の課題		商談件数のアップ(令和6年度に続き100件の目標を達成するとともに、1件でも多い商談実績を目指す)									
令和9年度の対応方針											

関西広域連合の農林水産分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興(農林水産部)担当委員

施策運営目標 (重点方針)	都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	都市と農山漁村の交流の先進的事例等の情報発信や知見を有する人材の育成		
対応方針	優良事例の情報発信、人材バンクの活用と現地研修会の開催		

番号	3-1	事業名	都市農村交流の情報発信										
予算額		(R8予算額)	2,330	千円	(R7決算額)	2,514	千円	(R7予算額)	2,597	千円	区分	継続(H29～)	
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
・「都市農村交流サイト」の運営とデジタルスタンプラリーの実施 構成府県市の優良事例や交流施設等を紹介する「都市農村交流サイト」を運営するとともに、SNSを活用し情報発信する。また、域内の都市農村交流施設を対象にデジタルスタンプラリーを実施する。 (デジタルスタンプラリーの参加施設数: 200施設)						広域連合ホームページの運営に加え、デジタルスタンプラリーの実施により、都市住民の農山漁村への関心を高め、交流を促進する。 スタンプラリーユーザーへのアンケートで「都市農山漁村交流施設を利用したい」の割合:80%以上							
今後5年間の目標数値		(デジタルスタンプラリーの参加施設数:延べ1,000施設)				5年後の目標数値		(スタンプラリーユーザーへのアンケートで「都市農山漁村交流施設を利用したい」の割合:90%以上)				-	-
昨年度からの改善内容		開催期間の拡大											
令和8年度の課題		イベントの周知											
令和9年度の対応方針													

番号	3-2	事業名		都市農村交流のための人材育成					
予算額		(R8予算額) 713 千円		(R7決算額) 426 千円		(R7予算額) 446 千円		区分	継続(H29～)
アウトプット				アウトカム				評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価	アウトカム評価
・都市農村交流現地検討会の開催 構成府県市における都市農村交流の優良事例の発表 や、地域課題の解決に向けた現地見学と意見交換を行 う現地検討会を開催する (現地検討会の開催:1回)				現地検討会の開催により、関係者の都市農村交流活 動に対する意識が高まり、地域の活性化を推進 検討会参加者へのアンケートで「今後の活動の 参考になった」の割合:80%以上					
今後5年間の目標数値		(現地検討会の開催:5回)		5年後の目標数値		(検討会参加者へのアンケートで「今後の活動の参考になった」の割合:90%以上)		-	-
昨年度からの改善内容		現地検討会の開催							
令和8年度の課題		取組の周知							
令和9年度の対応方針									

関西広域連合の広域医療分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域医療担当委員 後藤田 正純

基本目標 (目指すべき将来像)	医療における安全・安心ネットワークが確立された関西
	ドクターヘリをはじめとする医療資源の効果的な活用や有機的な連携により、広域医療体制のより一層の充実・強化を図り、関西全体を「4次医療圏」と位置づけた「安全・安心の医療圏“関西”」の深化を目指す。
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	「より安全・安心な救急医療体制の構築」をアウトカム目標に設定している項目がある。数値的な評価が難しいというのは理解するが、どういった変化・改善があったか、を示していただくとより良いかと思う。

施策運営目標 (重点方針)	ドクターヘリによる広域救急医療体制の充実	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	ドクターヘリの安定的な運航体制の確保		
対応方針	関西広域連合管内8機のドクターヘリを最大限に生かし、効果的かつ効率的な運航を推進するとともに、複数機のドクターヘリが補完し合う「二重・三重のセーフティネット」の更なる拡充に向け、構成団体及び近隣地域との連携を促進する。		

番号	1-1	事業名	運航の質の向上										
予算額	(R8予算額)	2,156,259	千円	(R7決算額)	1,487,155	千円	(R7予算額)	1,774,991	千円	区分			
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
「京滋ドクターヘリ」、「大阪府ドクターヘリ」及び「徳島県ドクターヘリ」の安定的な運航体制を確保する。						関西広域連合管内8機のドクターヘリによる効果的かつ効率的な運航の推進を図る。							
(—)			()			(—)			()				
今後5年間での目標数値		(—)			5年後の目標数値		(—)			-		-	
昨年度からの改善内容		新たな運航会社による「京滋ドクターヘリ」の運航を開始した。											
令和8年度の課題		ドクターヘリの安定的な運航体制の確保を図る必要がある。											
令和9年度の対応方針		—											

番号	1-2	事業名	連携・相互交流の推進								
予算額	(R8予算額)	684	千円	(R7決算額)	193	千円	(R7予算額)	684	千円	区分	
アウトプット				アウトカム				評価			
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価	
関西広域連合管内のドクターヘリ基地病院のフライトドクター・ナース等が情報共有・意見交換を行う「ドクターヘリ基地病院交流・連絡会」を開催する。				「ドクターヘリ基地病院交流・連絡会」の開催により、フライトドクター・ナースのスキルアップや基地病院間の連携強化を図る。							
(開催回数:1回)		()		(参加者アンケート:満足度70%以上)		()					
今後5年間での目標数値		(ドクターヘリ基地病院交流・連絡会 開催回数:5回)		5年後の目標数値		(—)		-		-	
昨年度からの改善内容		これまで「ドクターヘリ基地病院交流・連絡会」を未開催の基地病院において会を開催する。									
令和8年度の課題		令和8年度より、関西広域連合管内において、複数の運航会社がドクターヘリを運航することから、より一層の連携強化が必要。									
令和9年度の対応方針		—									

41

関西広域連合の広域医療分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域医療担当委員 後藤田 正純

施策運営目標 (重点方針)	災害時における広域医療体制の強化	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	大規模広域災害に備えた関西広域連合管内の関係者間の連携強化及び災害対応力の向上		
対応方針	災害医療コーディネーターや DMAT(災害派遣医療チーム)等の災害医療人材の養成・連携を進めるとともに、広域調整機能の向上等を図る。		

番号	2-1	事業名	災害医療人材の養成・連携						
予算額	(R8予算額) 625 千円		(R7決算額) 125 千円		(R7予算額) 625 千円		区分		
アウトプット				アウトカム				評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価	アウトカム評価
(開催回数: 年1回)				個人ごとの災害対応能力の向上及び構成府県間の連携の強化を図る。 (参加者アンケート: 満足度80%以上)					
今後5年間の目標数値		(研修会開催回数: 5回)		5年後の目標数値		(参加者アンケート: 満足度80%以上を維持)		-	-
昨年度からの改善内容		内容について、時宜を得たテーマや令和7年度セミナー実施後の受講者アンケートを参考に検討し、より多くの関係者にとって有用な研修会を開催する。							
令和8年度の課題		構成府県市間での技術・知識の共有が容易で、今後の連携強化につなげられる研修内容を選出する。							
令和9年度の対応方針		—							

関西広域連合の広域医療分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域医療担当委員 後藤田 正純

番号	2-2	事業名	広域的な災害医療訓練の実施					
予算額	(R8予算額) 65 千円		(R7決算額) 0 千円		(R7予算額) 65 千円	区分		
アウトプット			アウトカム				評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)	目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)	アウトプット評価		アウトカム評価
「近畿府県合同防災訓練」等の広域的な災害医療訓練を実施する。			連合管内の広域連携のあり方を検討するための知見を得るとともに、他部局・他地域等との横の繋がりを作る。					
(訓練実施回数:年1回)		()	(連合管内参加DMAT数:年30チーム)		()			
今後5年間の目標数値	(訓練実施回数 5回)		5年後の目標数値	(連合管内参加DMAT数:年30チームを維持)			-	-
昨年度からの改善内容	引き続き、政府主催の大規模訓練への参加に加え、各構成府県市において実施した訓練の情報共有を行うなど、関係者の連携強化を図る。							
令和8年度の課題	政府主催の大規模訓練への参加に加え、各構成府県市において実施した訓練の情報共有を行うなど、関係者の連携強化を図る。							
令和9年度の対応方針	—							

番号	2-3	事業名	医療救護活動の応援・受援体制の充実												
予算額		(R8予算額)	291	千円	(R7決算額)	27	千円	(R7予算額)	291	千円	区分				
アウトプット						アウトカム						評価			
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価		アウトカム評価	
構成府県合同による衛星携帯電話の通信訓練や、「広域災害救急医療情報システム(EMIS)」の入力訓練を行う。						災害時の情報収集能力の向上及び連合管内の構成府県間の横の繋がりを強化する。									
(訓練実施回数:年1回)			()			(通信訓練参加府県:年5府県以上)			()						
今後5年間の目標数値		(訓練実施回数:5回)				5年後の目標数値		(通信訓練参加府県:年5府県以上を維持)				-		-	
昨年度からの改善内容		引き続き、構成府県合同による訓練を継続する。													
令和8年度の課題		衛星携帯電話及び新EMISの操作技術の取得を図る。													
令和9年度の対応方針		—													

関西広域連合の広域医療分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域医療担当委員 後藤田 正純

施策運営目標 (重点方針)	課題解決に向けた広域医療体制の構築	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	構成団体の共通課題に関する情報共有及び構成団体間の連携強化		
対応方針	「新興・再興感染症への備え」をはじめとする医療に関する共通課題に対応した広域医療体制を構築する。		

番号	3-1	事業名	新興・再興感染症への備え									
予算額	(R8予算額)	173	千円	(R7決算額)	95	千円	(R7予算額)	173	千円	区分		
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
感染症対策に係る広域連携を必要に応じて行えるよう、 情報共有等を継続して行うとともに、感染症担当者情報 交換会を実施する。				構成府県市の先進事例等の情報共有を行うことにより、 構成府県市の体制強化を図る。								
(情報交換会実施回数:年1回)		()		(感染症対策に係る参加者の知識向上による体 制強化)		()						
今後5年間の目標数値	(情報交換会実施回数:5回)			5年後の目標数値	(—)			-		-		
昨年度からの改善内容	引き続き、関係機関と連携し、情報共有等を図る。											
令和8年度の課題	関係機関と連携し、情報共有等を図る。											
令和9年度の対応方針	—											

番号	3-2	事業名	薬物乱用防止対策											
予算額		(R8予算額)	288	千円	(R7決算額)	140	千円	(R7予算額)	288	千円	区分			
アウトプット						アウトカム						評価		
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価	
危険ドラッグや大麻等薬物乱用の実態に対応した実務担当者会や研修会を行う。						新たに発生した課題や事案等に対応した研修等を広域的に行うことにより、より効率的・効果的に担当者の知識習得、情報共有を図る。								
(実務担当者会・研修会 開催回数:1回)			()			(参加者アンケート:満足度80%以上)			()					
今後5年間の目標数値		(実務担当者会・研修会 開催回数:5回)				5年後の目標数値		(参加者アンケート:満足度80%以上を維持)				-	-	
昨年度からの改善内容														
引き続き、構成府県市の薬物乱用防止の取組に資する研修会等を開催し、最新の薬物事犯の状況や薬物分析に係る課題・知見等について情報共有を進める。														
令和8年度の課題		薬物事犯の件数は高止まりしており、その一因として薬物の危険性に対する誤った認識があるため、正しい知識を普及啓発していく必要がある。												
令和9年度の対応方針		—												

関西広域連合の広域環境保全分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域環境保全担当員 三日月大造

基本目標 (目指すべき将来像)	地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西
	○脱炭素社会が実現 ○多様で豊かな自然の恵みを享受した人と自然の共生が実現 ○”もの”を大切に長く使うライフスタイルの定着と”もの”を資源とした効率的な資源循環の達成 ○様々な世代が多様な形で環境学習や環境保全活動に参画
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	【ご意見】令和8年度から第6期広域計画がスタートしており、「今後5年間(計画期間)で何を実現するか」という中長期的な視点に立った目標設定を意識することも重要である。 【対応】各事業において、5年間(5年後)を見据えた目標を設定。

施策運営目標 (重点方針)	脱炭素社会づくり(地球温暖化対策)	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	○関西脱炭素社会の実現に向けて、住民や事業者、団体等の各主体おける取組を促進する必要がある。		
対応方針	○住民や事業者、団体の各主体による実践行動を促進するため、キャンペーンの実施や優良事例等の共有を行うことで、関西脱炭素社会の実現に向けた機運の醸成を図る。		

番号	1-1	事業名 地球温暖化対策の推進													
予算額	(R8予算額)	9,766	千円	(R7決算額)	4,419	千円	(R7予算額)	5,027	千円	区分	継続(H26～)				
アウトプット						アウトカム						評価			
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価		アウトカム評価	
○関西脱炭素フォーラムにおいて、取組発表や交流の機会を創出することで、関西脱炭素社会の実現に向けた実践行動促進のための機運の醸成を図る。						○関西脱炭素フォーラムにおいて、取組発表や交流の機会を創出することで、関西脱炭素社会の実現に向けた実践行動促進のための機運の醸成を図る。									
(関西脱炭素フォーラムの参加者数:300名)			()			(関西脱炭素フォーラム参加者の満足度:80%以上)			()						
今後5年間での目標数値		(関西脱炭素フォーラムの参加者数:各年300名)				5年後の目標数値		(関西脱炭素フォーラム参加者の満足度:80%以上)				-		-	
昨年度からの改善内容		従前の「関西脱炭素アクション」の取組に加え、大阪・関西万博のレガシーの継承を含む、住民や事業者の脱炭素行動変容を促す取組を新たに実施する。													
令和8年度の課題		住民や事業者の脱炭素行動変容を促す取組について、効果的なプロモーションを実施する必要がある。													
令和9年度の対応方針															

関西広域連合の広域環境保全分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域環境保全担当員 三日月大造

施策運営目標 (重点方針)	自然共生社会づくり(生物多様性の保全)	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	○ネイチャーポジティブの実現に向けた生物多様性の保全、広域連携による鳥獣被害対策を行う必要がある。		
対応方針	○「関西の活かしたい自然エリア」を活用するとともに、鳥獣の分布状況の把握や被害低減に向けた人材育成支援を行う。		

番号	2-1	事業名 生物多様性の保全及び活用の推進											
予算額	(R8予算額)	5,179	千円	(R7決算額)	4,163	千円	(R7予算額)	4,296	千円	区分	継続(H26～)		
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
○自然エリアにおけるスタディツアーの実施 自然エリアを対象として、生物多様性や自然の恵みの重要性、自然と人の営み等の気付きを目的としたスタディツアーを実施する。						スタディツアーを通じて、生物多様性や自然の恵みの重要性、自然と人の営み等の気付きを得る。							
(スタディツアーの実施回数 1回)			(										

関西広域連合の広域環境保全分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域環境保全担当員 三日月大造

番号	2-2	事業名 関西地域カワウ広域管理計画											
予算額	(R8予算額)	18,837	千円	(R7決算額)	18,586	千円	(R7予算額)	18,837	千円	区分	継続(H26～)		
アウトプット						アウトカム					評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)				目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価	
○関西地域カワウ広域管理計画(第4次)に基づき、以下の取組を行う。 ・カワウ生息動向調査の実施(年3回) ・被害地への飛来数および被害状況・対策状況の把握(年1回) ・カワウ対策検証事業の広域展開または計画作成支援(年1回)		(											

番号	2-3	事業名	広域連携による鳥獣被害対策の推進										
予算額	(R8予算額)	7,617	千円	(R7決算額)	7,483	千円	(R7予算額)	7,617	千円	区分	継続(H26～)		
アウトプット						アウトカム				評価			
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価			
○ニホンジカやツキノワグマ、外来獣等対策の推進のため、以下の取組を行う。 ・将来の社会構造等を踏まえた長期的な観点を持つための野生鳥獣対策の検討会議および被害防止計画改善のためのガイドライン(案)作成のための有害鳥獣捕獲体制検討会を開催(計年5回) ・構成府県市に対するクマ対策の支援のための研修会の実施(年一回)				○検討会議等に参加することにより、各構成府県市の野生鳥獣対策のための施策がより効率的、効果的に改善されることで、野生鳥獣被害が軽減される。									
(検討会議および研修会の参加者数:年延べ60人以上)		()		(検討会議等参加者の満足度80%以上)		()							
今後5年間の目標数値		(検討会議および研修会の参加者数:5年延べ300人以上)		5年後の目標数値		(検討会議等参加者の満足度85%以上)		-		-			
昨年度からの改善内容		ツキノワグマ対策に関する機運が高まったため、構成府県市に対するツキノワグマ対策の支援を実施する。											
令和8年度の課題		高齢化等の社会構造の変化から、野生鳥獣対策に投じることができる資源が限られてくることについて、構成府県市の担当者に加え、専門家等も交えて協議を重ね、対応方針等を検討する必要がある。											
令和9年度の対応方針													

関西広域連合の広域環境保全分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域環境保全担当員 三日月大造

施策運営目標 (重点方針)	循環型社会づくり(資源循環の推進)	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	構成府県市における施策方針や取組との重複、整合性を図る必要がある。		
対応方針	既存の枠組み利用も念頭に置きつつ広域連合の枠組み(組織・エリア)を生かせる取組について担当者会議の場等で引き続き協議、検討を行う。		

番号	3-1	事業名	サーキュラーエコミーへの移行を目指した3R等の取組の展開										
予算額		(R8予算額)	4,997	千円	(R7決算額)	9,199	千円	(R7予算額)	9,351	千円	区分	継続(H26～)	
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
○マイボトル運動の推進 ・「マイボトルスポットMAP」の新規登録数を増やすために、「Osakaほかさんマップ」を統合する。 ・様々な機会を捉えてマイボトルの利用促進に資する啓発を行い、スポットMAPの認知度向上を図る。 ○ファッションロス削減に向けた機運醸成 ・ファッションロス削減に向けた事例集を作成することで好事例の横展開するとともに、啓発イベントの実施等を通して、ファッションロス削減に向けた機運を醸成する。また、業界団体等への働きかけを通じて、ファッションロス削減に向けた仕組みづくりの検討を行う。						○「Osakaほかさんマップ」との統合により、新規で約600件のスポットを登録することで、MAPの認知度向上とともに、マイボトルの利用が促進される。 ○関西全体で、ファッションロスを削減するライフスタイルへの転換に向けた機運を醸成し、実践取組に繋げる。							
(													

関西広域連合の広域環境保全分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域環境保全担当員 三日月大造

施策運営目標 (重点方針)	持続可能な社会を担う人育て	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	○持続可能な社会の担い手となる若い世代を対象とした事業や、地域特性を活かした環境学習等を通じ、持続可能な社会を担うために総合的な視野をもった多様な人材育成を推進する。		
対応方針	○地域特性を活かした交流型環境学習プログラムにより、構成府県市の子どもたちが集い学びあう機会を設け、関西広域連合全体で当該地域の環境や課題等への理解醸成を図る。 ○学生を中心とした若い世代と、関西の環境保全団体等が相互に情報発信し、交流する機会を設けることで、今後の環境課題に対応する若い世代や企業、NPO等を含めた有機的なネットワーク形成を図る。		

番号	4-1	事業名	人材育成施策の広域展開									
予算額	(R8予算額)	3,793	千円	(R7決算額)	3,194	千円	(R7予算額)	3,925	千円	区分	継続(H26～)	
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
・環境学習の推進のため、地域特性を活かした交流型環境学習事業を実施する。 (学習船「うみのこ」親子体験航海の開催:2回、京都府自然体験教室の開催:2回) ・持続可能な社会の担い手となる若い世代と関西の環境保全団体等とのネットワーク形成の促進のため、環境×若者ネットワーク形成促進事業を実施する。 (KANSAI環境×若者シンポジウムの開催:1回)		()		【交流型環境学習事業】 関西広域連合圏域において、地域の環境課題等について相互理解が促進される。 【環境×若者ネットワーク形成促進事業】 各地の学生団体及び地元で活動する環境保全団体の交流・相互支援ネットワークを構築することにより、関西各地の環境課題に対処しうる人材の育成が図られる。		()						
								(各イベントにおいて目標が達成されたと感じる参加者割合:90%以上)		()		
今後5年間での目標数値	(交流型環境学習事業:各イベントを毎年2回開催、環境×若者ネットワーク形成促進事業:交流シンポジウムを毎年1回開催)			5年後の目標数値	(各イベントにおいて目標が達成されたと感じる参加者割合:90%以上)			-		-		
昨年度からの改善内容	令和7年度をもって若者参画による環境学習プログラムを終了し、令和8年度は新たに環境×若者ネットワーク形成促進事業を展開する。											
令和8年度の課題	交流型環境学習事業では、次年度以降の自然体験教室の開催地と内容を検討する。 環境×若者ネットワーク形成促進事業では、今年度のシンポジウムの実施結果等を受けて、次年度以降の課題や取組の方向性を整理する。											
令和9年度の対応方針												

関西広域連合の資格試験・免許等分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域連合長 三日月 大造

基本目標 (目指すべき将来像)	資格試験・免許等の事務の一元的な実施・管理による効率化
	調理師、製菓衛生師及び准看護師に係る試験・免許交付事務、及び毒物劇物取扱者試験及び登録販売者試験の適正かつ円滑な実施
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—

施策運営目標 (重点方針)	資格試験、免許等事務の着実な推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	①適正な試験問題の作成 ②正確かつ迅速な免許証の交付		
対応方針	①試験問題の照査強化 ②免許等事務の正確かつ円滑な事務の執行		

番号	1-1	事業名	資格試験事務													
予算額	(R8予算額)		148,226	千円	(R7決算額)		110,513	千円	(R7予算額)		150,038	千円	区分	継続(H25～)		
アウトプット								アウトカム						評価		
目標 (目標数値)				達成状況 (達成数値)				目標 (目標数値)				達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価
(																

目標設定者： 広域連合長 三日月 大造

51

関西広域連合の広域職員研修分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域職員研修担当委員 山下 真

基本目標 (目指すべき将来像)	広域職員研修の実施		
	職員が構成団体内にとどまらず、“関西”という幅広い視野で広域課題に取り組むことができる能力を身につける。		
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見			
施策運営目標 (重点方針)	1. 幅広い視野を有する職員の養成及び業務執行能力の向上 2. 構成団体間の相互理解及び職員間のネットワークの活用 3. 研修の効率化	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	・広域職員研修局主催の研修について、対面型・WEB 型双方のメリットを活かしながら、より効果的で効率的な研修につなげていく必要がある。 ・各構成団体が主催する研修についても、構成団体の協力を得ながら、先進的取組を研修題材とするほか、研修メニューを多様化し、多くの職員が研修に参加できるよう運営する必要がある。		
対応方針	1. 広域職員研修局主催の研修については、将来の関西を担う若手職員等を対象に、関西における共通の政策課題等をテーマとした研修や全国の先進的な取組事例等を学ぶ研修とし、広域的な視点で物事を俯瞰できる能力の向上を図る。併せて、構成団体と連携し研修メニューの多様化を図り、構成団体間の交流を一層促進するとともに、職員の能力の向上につなげる。 2. 広範な人脈づくりが期待できるグループワークにより、交流を通じて相互理解を深めるとともに、職員間のネットワークを活用して構成団体間の連携促進、広域連合の事業推進につなげていく。また、WEB を活用し在宅勤務でも受講可能とするなど、研修に参加しやすい環境づくりにも努め、より多くの職員が参加し、活発な相互交流が行われるよう取り組んでいく。 3. 構成団体が共通して実施している研修や、各構成団体の特色ある研修等について、WEBの活用や合同実施による研修の効率化を図っていく。		

番号	1	事業名 広域職員研修局主催研修の実施											
予算額	(R8予算額)	3,620	千円	(R7決算額)	2,413	千円	(R7予算額)	3,620	千円	区分	継続(H23～)		
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価			
政策形成能力研修の実施 ①関西における共通の政策課題等を基にテーマを設定し、政策立案演習を中心とした合宿型の研修を実施。 ②政策立案に向けて全国の先進的な取組事例等を学ぶ宿泊を伴わない集中講義形式を実施する。				関西における共通の政策課題等について研修を行うことを通じ、広域的な視点での政策形成の能力向上を図る。また、交流を通じて相互理解を深めるとともに、職員間のネットワーク形成につなげる。									
								(受講者の研修内容に係る満足度90%以上)		()		()	
今後5年間の目標数値	(受講者の研修内容に係る満足度90%以上を維持)			5年後の目標数値	(受講者の知識・技術の修得度合:90%以上を維持)			-		-			
昨年度からの改善内容		アンケート結果を受け、よりニーズを反映した研修プログラムに改善											
令和8年度の課題		WEBの活用や合同実施による研修の効率化											
令和9年度の対応方針													

関西広域連合の企画管理分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域インフラ検討会座長 三日月連合長

基本目標 (目指すべき将来像)	人・モノ・情報が集積し、新たな価値を創造・発信する 世界のネットワーク拠点関西
	連綿と紡がれてきた歴史に裏打ちされた経済、環境、医療、観光・文化等における関西の魅力を活かして人が集い、交通の要衝となる高速鉄道網や高速道路網の整備、空港・港湾の機能強化により、国内はもとより、アジア・世界とつながるネットワークを構築する。
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—

施策運営目標 (重点方針)	広域交通インフラの機能強化、整備促進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	道路整備の推進、空港・港湾機能の強化、北陸新幹線、リニア中央新幹線の早期全線開業、高速鉄道網の整備を進める必要がある		
対応方針	国に対してインフラ整備のための予算確保や事業推進についての働きかけを行う		

番号	1	事業名 広域インフラ整備促進											
予算額	(R8予算額)	1,545	千円	(R7決算額)	925	千円	(R7予算額)	1,545	千円	区分	継続(H23～)		
アウトプット						アウトカム				評価			
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価			
【道路整備】 ・「国の施策・予算に対する提案」により必要な予算額の確保及び道路整備の推進について要望を実施する(要望2回)とともに、「広域インフラマップ(道路)」を更新する。 【空港・港湾】 ・機能強化に向けて、「国の施策・予算に対する提案」により、国に対して要望を実施する。(要望2回) 【北陸新幹線】 ・与党整備委員会におけるルート再検証の結論が出た後、状況に応じて、「国の施策・予算に対する提案」により、北陸新幹線の建設促進に向けた要望を実施する。 ・ルート決定後、状況に応じて、北陸新幹線建設促進同盟会等とともに国等に対し要請活動を実施する。 【リニア中央新幹線】 ・早期全線開業に向けて、「国の施策・予算に対する提案」により、国に対して要望を実施する。(要望2回) 【四国、山陰新幹線ほか】 ・基本計画路線である四国、山陰新幹線等の整備計画への格上げについて、国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施する。(要望2回)				広域インフラ整備が促進される。									
(上記要望実施回数)		()		(広域インフラマップ(道路)掲載路線における新規供用区間数:3区間以上)		()							
今後5年間の目標数値		(上記要望実施回数×5年間の実施回数)		5年後の目標数値		(広域インフラマップ(道路)掲載路線における新規供用区間数:15区間以上)		-		-			
昨年度からの改善内容		—											
令和8年度の課題		広域インフラ整備促進のため、積極的な国への働きかけが必要。なお、北陸新幹線の要望等については、状況に応じた実施の判断が必要。											
令和9年度の対応方針													

53

関西広域連合のプラスチック対策分野に係る施策運営目標

目標設定者： プラスチック対策検討会座長
吉村洋文・三日月大造

基本目標 (目指すべき将来像)	地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西
	都市と自然の魅力が同時に享受できる関西の地域特性や高度に集積する環境関連産業を背景に、環境を経済社会活動の基盤として、環境・経済・社会の統合的向上を実現する地域循環共生圏を形成し、他の地域のモデルとなる持続可能な“関西”を目指す。
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	－

施策運営目標 (重点方針)	プラスチック対策の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	関西広域連合では令和元年5月に「関西プラスチックごみゼロ宣言」を行ったが、プラスチック削減のためには、プラスチックの製造・流通・消費・廃棄等の各過程に関わる事業者や住民など多様な主体が		
対応方針	①プラスチック代替品の普及に向けた情報集の更新、プラスチックごみ散乱状況推計モデル利活用マニュアルの改訂およびそれらの利用拡大を図る。 ②プラスチック対策プラットフォームの運営を行う		

番号	2	事業名	プラスチック代替品の普及およびプラスチックごみ散乱状況把握に係る取組の推進、プラットフォームの運営									
予算額	(R8予算額)	5,485	千円	(R7決算額)	2,281	千円	(R7予算額)	5,487	千円	区分		
アウトプット						アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
○プラスチック代替品の普及およびプラスチックごみ散乱状況把握に係る取組の促進 プラスチック代替素材製品の開発・製造・販売に資する情報、その普及に向けた課題や対応策・取組事例等を盛り込んだ情報集や、プラスチックごみ散乱状況推計モデル利活用マニュアルの利用拡大を図るための自治体・事業者等のセミナー、研修会を実施する。 ○プラットフォームの運営 関係各主体と課題の情報の共有を行い、プラスチックごみ抑制に向けた連携・協働のための意見交換や各方面の情報収集を行うプラットフォーム会議を実施する。 (自治体・事業者等向け研修会の開催: 1回 プラットフォーム会議の開催: 1回)				○セミナー・研修会を通じて、情報集や推計モデル利活用マニュアルが共有される。 ○関係各主体にプラスチックごみ抑制のための有益な情報が共有される。 セミナー・研修会の参加者アンケートに回答した参加者のうち、研修会を有益と回答した参加者: 80%以上 参加者アンケートを回答した参加者のうち、プラットフォーム会議で共有した情報を有益と回答した参加者: 80%以上								
今後5年間の目標数値		・自治体・事業者等向け研修会及びプラットフォーム会議を毎年度実施し、参加主体数の拡大及び関係者間の交流促進を図る。 ・研修会及びプラットフォーム会議の累計参加者数について、令和8年度実績からの増加を目指す。		5年後の目標数値		・参加者アンケートについて、研修会及びプラットフォーム会議を有益と回答した人の割合を85%以上を維持する ・研修会参加者のうち、30%以上がプラ代替情報集又は推計モデル活用マニュアルを業務等で活用している状態を目指す。		-		-		
昨年度からの改善内容		・プラスチックごみ散乱状況推計モデルについて、利用者がアクセスしやすいウェブ上で閲覧・活用できる環境の整備を検討 ・アンケートやプラットフォーム参加者の意見を踏まえ、ニーズに応じたテーマ設定や情報共有を実施										
令和8年度の課題		プラスチック代替品の普及に向けた情報集及びプラスチックごみ散乱状況推計モデル利活用マニュアル等の効果的な周知・活用促進並びに活用事例の収集・共有										
令和9年度の対応方針												

関西広域連合のエネルギー分野に係る施策運営目標

目標設定者： エネルギー検討会座長 吉村 洋文 ・ 三日月 大造

基本目標 (目指すべき将来像)	地球環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西
	水素等を輸入・製造し、供給する体制が構築され、発電・モビリティ・産業プロセスの熱源等への利活用が進み、脱炭素に貢献する水素社会が実現している
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—

施策運営目標 (重点方針)	エネルギー政策の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	水素社会の実現、そのための水素サプライチェーン構築には、水素利活用の普及拡大に向けた行政や事業者等の関係者によるそれぞれの取組みを進める必要がある。		
対応方針	水素等のサプライチェーン構築に向けて、産学官の情報共有と広域的な連携をはかるプラットフォームを運営し、水素社会実現をめざして機運醸成を図るとともに、とともに、エネルギー政策の推進等に係る国への提案等を行う。		

番号	3	事業名	関西圏の水素サプライチェーン構想具現化（エネルギーに関する構成府県市間の情報共有、国への提案等含む）																								
予算額	(R8予算額)		1,969		千円		(R7決算額)		1,085		千円		(R7予算額)		1,969		千円		区分	継続（H23～）							
アウトプット										アウトカム										評価							
目標 （目標数値）					達成状況 （達成数値）					目標 （目標数値）					達成状況 （達成数値）					アウトプット評価				アウトカム評価			
関西圏の水素サプライチェーン構想の実現に向けて、関西水素サプライチェーン構想実現プラットフォームを運営し、水素セミナー、意見交換会、施設見学会等の交流会を開催する。										関西圏の水素サプライチェーン構想の実現に向けた、産学官の情報共有、意見交換を通じた機運の醸成																	
(交流会の累計参加者数 80人以上 （交流会：計4回）)					()					(参加者アンケートで、交流会の内容に「満足」または「やや満足」と回答した割合：80%) 以上)					()												
今後5年間の目標数値			交流会の累計参加者数 400人以上 交流会20回以上							5年後の目標数値			参加者アンケートで、交流会の内容に「満足」または「やや満足」と回答した割合：80%以上							-				-			
昨年度からの改善内容			関西における水素社会実現に向け、最新の政策動向や、先進的な取組事例に着目したテーマ設定を行い、事業者や構成府県市の取組の情報共有や広域的な交流・連携を促す場を提供し、機運醸成を図る。																								
令和8年度の課題			関西における水素社会実現に向けた機運を高める取組みや水素利活用の促進に向けた関係者間での課題共有、解決策の検討等が必要。																								
令和9年度の対応方針																											

関西広域連合の企画管理分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域連合長 三日月大造

基本目標 (目指すべき将来像)	産学官連携によるイノベーションの推進
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—

施策運営目標 (重点方針)	産学官連携によるイノベーションの強化・推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	産業界の関心が高い健康・医療関連の新産業創出に向けた産学官連携の取組の促進		
対応方針	関西健康・医療創生会議のこれまでの活動を踏まえ、産学官連携による健康・医療情報連携基盤の構築・利活用を推進		

番号	4	事業名	産学官連携によるイノベーションの強化・推進										
予算額		(R8予算額)	2,626	千円	(R7決算額)	2,143	千円	(R7予算額)	2,626	千円	区分		
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
関西健康・医療創生会議において、産学官連携による医療データの利活用や医療情報セキュリティ対策、広域救急・地域医療の府県域を越えた連携のあり方等に関するシンポジウム・セミナーを開催						医療データの利活用や、医療情報セキュリティ対策などについて、参加者が最新の知識や知見、情報システム開発の動向等を習得							
(シンポジウム・セミナー参加者(年400人))			()			(参加者アンケートで「シンポジウム・セミナーの内容に満足した」と回答した割合:80%以上)			()				
今後5年間の目標数値		(シンポジウム・セミナー参加者5年間2,000人)				5年後の目標数値		(参加者アンケートで「シンポジウム・セミナーの内容に満足した」と回答した割合:5カ年平均 80%以上)				-	-
昨年度からの改善内容		シンポジウム・セミナーのテーマについては、産学官連携による広域的な視点で取り組むべき喫緊の課題を選定											
令和8年度の課題		関西広域での医療データの利活用や医療情報セキュリティ対策、広域救急・地域医療の府県域を越えた連携方策											
令和9年度の対応方針													

関西広域連合の企画管理分野に係る施策運営目標

目標設定者： 三日月広域連合長

基本目標 (目指すべき将来像)	誰もが豊かさを実感できる、安全・安心で持続可能な関西	
	防災力の向上や医療体制の充実・強化等はもちろんのこと、環境の保全・利活用に取り組み、あらゆる分野においてデジタル技術・新技術を活用すること等により、世代や住む地域にかかわらず、誰もが豊かな環境とともに利便性を享受しつつ、安心して暮らすことができる持続可能な社会を構築する。	
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—	

施策運営目標 (重点方針)	琵琶湖・淀川における流域ガバナンスの向上に向けた取組の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	琵琶湖・淀川流域における適切な課題の共有及びプロセスを経由した流域対策が必要		
対応方針	琵琶湖・淀川流域対策に係る研究報告書に基づく議論の場づくり		

番号	5	事業名	広域的な流域対策の検討												
予算額	(R8予算額)		4,344	千円	(R7決算額)		11,595	千円	(R7予算額)		12,500	千円	区分	継続(平成26年度～)	
アウトプット						アウトカム						評価			
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価		アウトカム評価	
(			(			(			(			・流域府県市で構成する水源保全連絡会議やシンポジウム等の実施により、流域の現状と課題を共有するとともに、水のつながりの理解の輪を広げ、多様な主体の連携を促進する。		・水源保全等に関する現状と課題の共有 ・流域内の様々な主体による連携・協働の促進	
今後5年間での目標数値			(			5年後の目標数値			(			-		-	
昨年度からの改善内容			—												
令和8年度の課題			水のつながりへの理解の拡大、多様な主体間の連携の促進												
令和9年度の対応方針															

関西広域連合の企画管理分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域連合長 三日月 大造

基本目標 (目指すべき将来像)	関西広域連合が目指すべき将来像の実現
	経済界や連携団体、地域活動団体等との連携・協働等を積極的に推進し、「関西広域連合が目指すべき関西の将来像」の実現を目指す。
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	

施策運営目標 (重点方針)	官民連携の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	様々な主体との積極的な連携・協働を進める必要がある。		
対応方針	経済界との定期的な意見交換会を開催するとともに、必要に応じて「官民連携組織」を設置し、官民が連携したオール関西の取組の着実な推進を図る。		

番号	6	事業名	官民連携の推進										
予算額		(R8予算額)	2,643	千円	(R7決算額)	8,494	千円	(R7予算額)	14,070	千円	区分		
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
○関西における様々な課題等について意見交換を行い、官民連携の強化を図るため、関西経済界との意見交換会を開催する。 ○関西における女性活躍推進を図るため、関西経済連合会をはじめ様々な主体と連携し設置した「関西女性活躍推進フォーラム」において、「関西女性活躍行動宣言」の推進に向け特定のテーマを設けて取り組む。 ○関西におけるSDGsの理念の普及及びネットワークの構築に向け、JICA関西、近畿経済産業局と共同で「関西SDGsプラットフォーム」を運営する。 ・コアイベントの開催(年1回)						・関西における様々な課題への対応と官民連携の取組の推進 ・女性活躍推進のため設定したテーマについて、機運醸成と意識啓発が図られる ・関西におけるSDGs達成に向けた連携・協働の促進及び理念の普及							
()			()			()			()				
今後5年間の目標数値		()			5年後の目標数値		()					-	-
昨年度からの改善内容													
令和8年度の課題		関西における様々な課題に対する官民連携の取組の推進											
令和9年度の対応方針													

関西広域連合の企画管理分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域連合長 三日月 大造

基本目標 (目指すべき将来像)	人・モノ・情報が集積し、新たな価値を創造・発信する世界のネットワーク拠点関西
	デジタル技術・新技術の活用等により、住んでいる地域等に関わらず、利便性の高い快適な暮らしができ、誰もが自分らしく活躍できる社会の実現
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	-

施策運営目標 (重点方針)	地方公共団体の情報システムの標準化・共通化、行政手続きのオンライン化等、デジタル化の推進に取り組む	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	国や様々な自治体・関係機関との積極的な連携・協働により取組を進める必要がある		
対応方針	国・関係機関と連携し、先進的事例に係る情報共有や機運の醸成を図ることで、関西圏域自治体の取組を促していく		

番号	7	事業名	デジタル化の推進														
予算額	(R8予算額)		183	千円	(R7決算額)		41	千円	(R7予算額)		183	千円	区分	継続(R3～)			
アウトプット							アウトカム							評価			
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)				目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)				アウトプット評価		アウトカム評価	
・官民連携による関西のDX推進 ・関西圏域自治体向けのDXセミナー等の開催 ・構成団体の主要オープンデータ等を集約した「デジタルゲートウェイ」の充実 ・構成団体の取組状況調査及び知見の共有 (①セミナー開催回数:1回 ②オープンデータ新規掲載件数:1件以上)							・関西圏域自治体のDXに向けた機運醸成 ・関西圏域自治体のオープンデータ整備・利活用促進 (データ利活用のモデルケース創出: 1件以上)										
今後5年間の目標数値		(①セミナー等開催回数:5回 ②オープンデータ新規掲載件数:5件)					5年後の目標数値		(データ利活用のモデルケース創出:5件)					-	-		
昨年度からの改善内容		関係機関とより緊密に連携しながら、関西圏域の自治体DXを進める															
令和8年度の課題		データ利活用のモデルケースの創出および取り組むメリットを積極的に共有する必要がある。 また、社会や行政を取り巻くDXの動きは非常に速いことから、時勢を捉えながら柔軟に取り組む必要がある。															
令和9年度の対応方針																	

関西広域連合の企画管理分野に係る施策運営目標

目標設定者： 三日月広域連合長

基本目標 (目指すべき将来像)	関西広域連合が目指すべき将来像の実現
	経済界や連携団体、地域活動団体等との連携・協働等を積極的に推進し、「関西広域連合が目指すべき関西の将来像」の実現を目指す。
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—

施策運営目標 (重点方針)	ビジネスがより効率的に行える広域的な環境づくりに向けた様式・基準の統一の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	「ビジネスがより効率的に行える広域的な環境づくり」と「地域における行政目的の達成」を両立した様式・基準の統一・共通化		
対応方針	「地域における行政目的の達成」を尊重した上で、自治体ごとに異なる様式や基準等を整理し、統一・共通化に取り組む。		

番号	8	事業名	様式・基準の統一の推進									
予算額		(R8予算額)	336	千円	(R7決算額)	184	千円	(R7予算額)	336	千円	区分	継続(令和5年度～)
アウトプット						アウトカム					評価	
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価		
広域的な様式・基準統一検討会議の下に、様式統一に係る2つの部会及び基準統一に係る1つの部会を設置し、構成府県市における状況の把握・共有及び共通化に向けた検討を行う。				キッチンカーの営業許可基準の共通化に係る指針の運用に際しての疑義事項等の整理								
()		()		()		()						
今後5年間の目標数値	()		5年後の目標数値		()				-		-	
昨年度からの改善内容		—										
令和8年度の課題		構成団体におけるキッチンカーの営業許可基準の共通化に係る指針の運用に際しての疑義事項等の整理										
令和9年度の対応方針												

関西広域連合の企画管理分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域連合長 三日月 大造

基本目標 (目指すべき将来像)	広域連合が目指すべき関西の将来像
	住民等に対し広域連合のメリットや、広域事務の情報発信等を積極的に行い、理解の促進に努める。
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	

施策運営目標 (重点方針)	情報発信の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	広域連合への住民理解の促進を図る		
対応方針	広域連合の情報を届けられるようSNS等を活用した広報を実施する		

番号	9	事業名	情報発信の推進																				
予算額		(R8予算額)		6,156	千円	(R7決算額)		※総務課合算		千円	(R7予算額)		5,066	千円	区分								
アウトプット										アウトカム						評価							
目標 (目標数値)					達成状況 (達成数値)					目標 (目標数値)					達成状況 (達成数値)					アウトプット評価		アウトカム評価	
・定期的にメールマガジンを配信し、住民等へダイレクトに情報を発信する。 ・ワールドマスタースゲームズ2027関西に関する情報等をSNSやホームページ等を活用し積極的に発信する。										住民等が広域連合の情報に触れる機会が増え、広域連合への理解が進む。													
(・X(旧ツイッター)投稿数:110件 ・ホームページの「報道発表」「お知らせ」の掲載数:110回 ・メールマガジン発信回数:36回)					()					(・X(旧ツイッター)閲覧数:85,000件以上 ・ホームページ閲覧数:2,000,000ビュー以上 ・メールマガジン登録者数:5,100人以上)					()								
今後5年間の目標数値			(・X(旧ツイッター)投稿数:各年110件 ・ホームページの「報道発表」「お知らせ」の掲載数:各年110回 ・メールマガジン発信回数:各年36回)							5年後の目標数値			(・X(旧ツイッター)閲覧数:年85,000件以上 ・ホームページ閲覧数:年2,000,000ビュー以上 ・メールマガジン登録者数:年5,100人以上)							-		-	
昨年度からの改善内容			WMGに関する情報発信回数の増加																				
令和8年度の課題			関西広域連合の取組全体に關しての情報発信																				
令和9年度の対応方針																							

関西広域連合の企画管理分野に係る施策運営目標

目標設定者： 奈良県

基本目標 (目指すべき将来像)	関西広域連合が目指すべき将来像の実現
	府県域を超えた広域連携による行財政改革を積極的に推進し、持続可能な関西の実現を目指す。
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—

施策運営目標 (重点方針)	広域連携による行財政改革の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	少子化による人口減少と急速な高齢化が進む中、関西が持続的な発展を遂げ、地域としての魅力を高めていくために、社会・経済情勢の変化を踏まえ、的確に対応していく必要がある。		
対応方針	簡素で効率的な運営を基本原則とし、事務の合理化や事業のスクラップ・アンド・ビルドを積極的に推進し、新たな事務の検討に当たっては、その必要性を十分に考慮し、広域連携による行財政改革の推進に向けた検討を行う。		

番号	10	事業名	広域連携による行財政改革の推進										
予算額	(R8予算額)		2,330	千円	(R7決算額)	15	千円	(R7予算額)	2,330	千円	区分	継続(令和7年度～)	
アウトプット						アウトカム						評価	
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価	アウトカム評価
関西広域連合委員会において決定した、広域での処理が効率的かつ効果的となる新たな事務の検討に係る取組項目について、実現に向けた調査・検討を行う。						調査・分析結果を踏まえ、令和9年度以降の取組方針及び実施内容を明確化し、具体的な取組内容を決定する。							
(-)			()			(-)			()				
今後5年間の目標数値		(-)				5年後の目標数値		(-)				-	-
昨年度からの改善内容			一										
令和8年度の課題			取組項目における令和9年度以降の具体的な取組内容の決定										
令和9年度の対応方針													

関西広域連合の分権型社会の実現の推進に係る施策運営目標

目標設定者： 三日月広域連合長

基本目標 (目指すべき将来像)	我が国の「もう一つの極」として、新次元の分権型社会を先導する関西		
	関西は、首都機能のバックアップ機能を担うとともに、関西ならではの個性や強みを活かし、首都圏とは異なる「もう一つの極」として、分権型社会を先導し、我が国の経済成長にも大きく寄与していく。		
令和7年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—		
施策運営目標 (重点方針)	分権型社会の実現に向けた効果的取組の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	広域連合設立以来15年の社会情勢の変化に伴う、地方分権改革・東京一極集中是正機運の停滞		
対応方針	国に対する提案活動、在関西政府機関や市町村との連携に加え、関西圏域におけるさまざまな広域行政の取組・成果を積み重ねることにより、関西が首都機能のバックアップを担うのにふさわしい圏域であること、また、関西広域連合が国の事務・権限の受け皿たる能力を有することを示していく。		

番号	1-1	事業名	国の事務・権限の移譲促進等							
予算額		(R8予算額) 920 千円		(R7決算額) 687 千円		(R7予算額) 767 千円		区分	継続(平成26年度～)	
アウトプット				アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価		アウトカム評価
・国の事務・権限の移譲等に向けて、国の予算編成等に対する提案、地方分権改革に関する提案募集の活用により、国に対して働きかけを行う。				・国の事務・権限の移譲等に向けた提案に国が応じ、国との間で具体的な協議に着手する。						
()		()		()		()				
今後5年間の目標数値		()		5年後の目標数値		()		-	-	
昨年度からの改善内容		－								
令和8年度の課題		国の事務・権限の移譲促進等に向けた粘り強い提案活動の実施								
令和9年度の対応方針										

関西広域連合の分権型社会の実現の推進に係る施策運営目標

目標設定者： 三日月広域連合長

番号	1-2	事業名	政府機関等の移転の促進							
予算額		(R8予算額) 701 千円		(R7決算額) 165 千円		(R7予算額) 701 千円		区分	継続(平成30年度～)	
アウトプット				アウトカム				評価		
目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		目標 (目標数値)		達成状況 (達成数値)		アウトプット評価	アウトカム評価	
・政府関係機関等の地方移転並びに機能向上を推進するため、政府機関と構成団体等の連携事業についての情報共有などを行う。 ・政府機関等の移転に係る情報発信を行う。 ()		()		・政府関係機関を含めた団体間による連携促進 ・政府機関等の移転に係る取組の認知度向上 ()		()				
今後5年間の目標数値		()		5年後の目標数値		()		-	-	
昨年度からの改善内容		－								
令和8年度の課題		政府機関等移転効果の関西全域への拡大								
令和9年度の対応方針										

番号	1-3	事業名	市町村との連携												
予算額		(R8予算額)	544	千円	(R7決算額)	400	千円	(R7予算額)	544	千円	区分	継続(平成24年度～)			
アウトプット						アウトカム						評価			
目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			目標 (目標数値)			達成状況 (達成数値)			アウトプット評価		アウトカム評価	
・近畿市長会、近畿府県町村会長を始め管内の市町村代表者等との意見交換を行う。 (意見交換会1回、情報提供12回)						・意見交換会の開催及び情報提供を行うことにより関西の課題等の認識を共有する。 (									